

htc®



VIVERSE for Business ユーザーガイド

コンテンツ

はじめに

VIVERSE for Business とは。	6
システム要件	7
VIVERSE for Business と互換性のあるデバイス	8
アバターを作成する	8
リアルアバターを作成する	10

メンバー、ビル、スペースを管理する

VIVERSE for Business 管理コンソールにサインインする	12
ダッシュボードを表示する	13
VIVERSE for Business 内の役割の種類	14
仮想スペースの種類	15
シートの分散	15
アカウントオーナーを割り当てる	16
ビルオーナーを割り当てる	16
ビルにメンバーを追加する	17
スペースオーナーを割り当てる	17
永続スペースにメンバを追加する	18
プライベートアクセスのスペースのスペースタイプを変更する	18

コンテンツのアップロードとダウンロード

VIVERSE for Business ユーザーコンソールについて	20
VIVERSE for Business で閲覧できるファイルの種類	21
VIVERSE for Business へファイルをアップロードする	21
360°動画のアップロード	23
ブックマークの追加、変更、削除	23
バーチャルスペースで作成したスクリーンショットやその他のファイルをダウンロードする	24
VIVERSE アドオンをインストールする	25
PowerPoint ファイルをアップロードする	25

VIVERSE for Business に進む

VIVERSE for Business にサインインする	27
VR コントローラーで VIVERSE for Business をナビゲートする	28
ハンドジェスチャーで VIVERSE for Business をナビゲートする	29
VIVERSE メニュー	31
アバターの変更	34
プライベートトーク	34
セーフゾーン	35
持続的でダイナミックな空間に入る	36
スペースのアクセス許可を管理する	37
スペースからオブジェクトを削除する	39
自分の場所にメンバーを集める	39

セッションを作成・参加する

VIVERSE for Business アプリでセッションを作成する	40
VIVERSE for Business ユーザーコンソールを通じてセッションを作成する	41
セッションに参加する	42
ミーティングを録画する	43
Outlook カレンダーを VIVERSE for Business カレンダーと同期する	44

使用できるツール

ツールを選択する	45
ライブキャプション	46
レーザーポインター	47
ペン	48
絵文字	48
付箋	48
カメラ	50

コンテンツを表示・共有する

コンテンツウィンドウの種類	52
画像、文書、その他のファイルを開く	52
ウェブコンテンツへアクセスする	53
ホワイトボードに文字を書く・絵を描く	53
コンテンツウィンドウの操作	54
画像で空間を装飾する	56
コンテンツウィンドウまたは大画面のコントロールをリクエストする	59
プレゼンテーションビューを使用する	59
オーナーのコンテンツウィンドウまたは大型スクリーンをミラーリングする	61
360°動画の表示と共有	61
360°画像の表示と共有	63

3D モデルでの操作

3D モデルの準備	65
Polygon Streamin とは？	66
3D モデルを VIVERSE for Business にアップロードする	68
3D モデルを開く	69

PC にアクセスする

リモートデスクトップで PC にアクセスする	73
VIVERSE for Business に PC 画面をミラーリングする	75
VIVERSE for Business で使用する電話会議アプリを設定する	75
Microsoft Teams 通話をする	76
Zoom 通話をする	78

VIVERSE for Business をコンピューターやモバイルデバイスで使用する

コンピューターとモバイルデバイスに VIVERSE for Business をダウンロードする	79
コンピューターで VIVERSE for Business をナビゲートする	79
モバイルデバイスで VIVERSE for Business をナビゲートする	80
デスクトップアプリでフライスルー視界を使用する	81
デスクトップアプリとモバイルアプリからプライベートトークセッションを開始する	82
アプリのコントロール	82
デスクトップとモバイルアプリからセッションを作成・参加する方法	84
デスクトップアプリのファイルブラウザを使用する	87

4 コンテンツ

デスクトップアプリでウェブブラウザを使用する	89
デスクトップアプリでコンテンツウィンドウを操作する	89
他のメンバーが共有したコンテンツを表示する	91
コンピュータ画面を共有する	92
デスクトップアプリとモバイルアプリでライブキャプションを表示する	93
デスクトップおよびモバイルアプリでの議事録を録音する	94
デスクトップとモバイルアプリでのセーフゾーンの仕組み	94

ソリューションと FAQ

一般	96
アバター	98
ファイルとコンテンツウィンドウ	98
セッションとスペース	101
3D モデル	101
サブスクリプションとその他の FAQ	101

商標と著作権

本ガイドについて

以下の記号は、役に立つ情報や重要な情報を示しています。



注記は、セットアップの詳細や、よくある質問への回答、特定の状況下での対処法などを提供します。



ヒントは、特定のステップや手順に役立つ補足情報、代替方法を提供します。



重要な注意事項には、特定のタスクを完了したり、特定の設定や機能を設定するために必要な情報を提供します。



警告は、潜在的な問題を回避し、ハードウェアの損傷を防ぐための重要な情報を提供します。

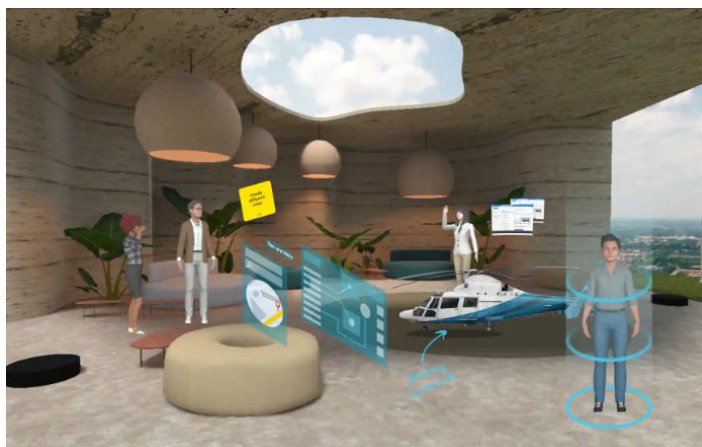
本ガイドに記載されている情報は、古いものである可能性があります。本ガイドの最新版を含む最新情報につきましては、[VIVE ビジネスサポート](#)でご確認ください。

はじめに

VIVERSE for Business とは。

VIVERSE for Business は、企業が従業員、顧客、ビジネスパートナーのために没入型バーチャルスペースを設定するために使用できるエンタープライズ対応のプラットフォームです。

VIVERSE for Business では、直感的な 3D 表示、カスタマイズ可能なアバター、インタラクティブなバーチャルセッションなど、生産性、接続性、エンゲージメントを高める各種機能をご利用いただけます。



ここでは、VIVERSE for Business を使い始める前に知っておくべきことをご紹介します。

- ご購入いただいたプランの種類に応じて、VIVERSE for Business のサブスクリプションには以下の機能が含まれます。

機能	説明
指定の組織	ご要望に応じて、VIVERSE for Business で、1 つ以上の組織を作成することができます。組織とは、VIVERSE for Business を利用する社内の各部署やグループを指します。
1 つまたは複数のビル	異なるバーチャルスペースを収容する 2 階建てから 3 階建てのビルです。
スペース	スペースとは、メンバーが移動したり、交流したり、イベントやセッションに参加することができるビル内のエリアです。詳細については、 仮想スペースの種類 (P.15) をご覧ください。
アカウントオーナー	アカウントオーナーは、最初に VIVERSE for Business 管理コンソールへのアクセス権が割り当てられ、付与されます。 VIVERSE for Business 管理コンソールにサインインする (P.12) をご覧ください。 最初のアカウントオーナーは、ビルオーナーや追加のアカウントオーナーを割り当てることができます。

- VIVERSE for Business を VR ヘッドセット、コンピュータ、モバイルデバイスで起動し、使用することができます。
- VIVERSE for Business を起動する前に、VIVERSE for Business ユーザーコンソールにアクセスしてファイルをアップロードし、VIVERSE for Business 環境にいるときにアクセスしたいウェブサイトへのリンクを追加します。詳細については、[VIVERSE for Business ユーザーコンソールについて](#) (P.20) をご覧ください。

システム要件

VIVERSE for Business デスクトップアプリを使用するには、お使いのコンピュータが以下の要件を満たしている必要があります:

Windows PC

ハードウェア	推奨要件
プロセッサ	第 11 世代 Intel® i7 / AMD Ryzen™ 5000 シリーズ以上
GPU	NVIDIA® GTX 1070 / AMD Radeon™ RX 580 同等またはそれ以上
メモリ	16 GB RAM 以上
ストレージ	4 GB 以上
オペレーティングシステム	Windows® 10 (64 ビット) またはそれ以降
ネットワーク帯域	電話会議用 5 Mbps、3D デザインレビュー用 50 Mbps

Mac コンピュータ

ハードウェア	推奨要件
プロセッサ	第 11 世代 Intel i7 / Apple M1 以上

ハードウェア	推奨要件
メモリ	16 GB RAM 以上
オペレーティングシステム	macOS 11.3 以降

VIVERSE for Business と互換性のあるデバイス

VIVERSE for Business は現在、以下のプラットフォームとデバイスをサポートしています:

プラットフォーム	デバイス
PC VR ヘッドセット	<ul style="list-style-type: none"> ▪ VIVE Pro シリーズ ▪ VIVE Cosmos シリーズ ▪ Valve Index™ ▪ Oculus Rift™および Oculus Rift™ S
スタンドアロン型ヘッドセット	<ul style="list-style-type: none"> ▪ VIVE XR Elite ▪ VIVE Focus 3 ▪ Meta Quest® 2 ▪ Meta Quest® 3
パーソナルコンピュータ (VIVERSE for Business デスクトップアプリ用)	VIVERSE for Business のシステム要件を満たすコンピューター。 システム要件 (P.7) をご覧ください。
モバイルデバイス (VIVERSE for Business モバイルアプリ用)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Android™ 7.1 以降で、RAM が少なくとも 6GB のスマートフォンとタブレット ▪ iPhone および iPad デバイス (iOS 13 以降で、RAM が少なくとも 6GB)

アバターを作成する

VIVERSE for Business のご使用前に、アバターが必要です。[VIVERSE アバター](#)のウェブサイト
にアクセスして、あなたのアバターを作成してください。



- HTC アカウントに最大 15 個のアバターを保存することができます。
- HTC アカウントにアバターがない場合、初めてヘッドセットで VIVERSE for Business にサインインするときに、アバターの作成が求められます。

[VIVERSE アバター](#)のウェブサイトで作成できるアバターの種類には以下のものがあります :

- リアルアバター：セルフィーを撮るか、既存の写真を顔モデルとして使用して、アバターを作成します。詳細については、[リアルアバターを作成する](#) (P.10) をご覧ください。



- キャラクターアバター：アバターとして仮想キャラクターを作成します。画面上の指示に従って、アバターの外観をカスタムしてください。



- VRM** アバター：Virtual Reality Modeling (VRM) は、クロスプラットフォームの 3D モデルファイル形式で、3D アバターに一般的に使用されます。VRM アバターを HTC アカウントにインポートすることができます。



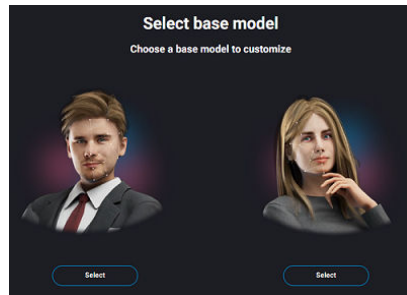
VRM アバターの推奨スペック：

仕様	ハイパフォーマンスをご希望の場合	通常のパフォーマンスをご希望の場合
ポリゴン	8,000 以下	20,000 以下
テクスチャサイズ	2,000 以下	4,000 以下
素材スロット	2 以下	4 以下
バウンドサイズ	2.5 x 2.5 x 2.5m	4 x 4 x 4m

リアルアバターを作成する

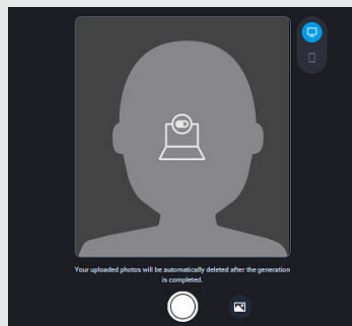
ここでは VIVERSE アバターウェブサイトでのリアルアバターの作成方法を紹介します。


1. ウェブブラウザで、[VIVERSE アバターウェブサイト](#)にアクセスします。
2. 右上のサインインをクリックして、HTC アカウントでサインインします。
3. 新しいアバターの作成をクリックします。
4. 左右の矢印ボタンをクリックしてアバターの種類を切り替え、表示されたらリアルアバターを作成するをクリックします。
5. まずはベースモデルを選択してください。



6. アバターのパーソナライズ画面で、以下の方法のいずれかを使用してアバターを作成します：

方法	ステップ
自撮りする	1. 表示されるセルフイーの撮影ヒントを読み、スタートをクリックします。
	2. ビューファインダーウィンドウの右上にあるボタンを使用して、コンピュータまたはモバイルデバイスのカメラを使用するかどうかを選択します。
既存の写真を使用する	1. セルフイーのヒントをスキップするには、スキップをクリックします。
	2. ビューファインダーウィンドウの下にある  をクリックし、写真を選択してから開くをクリックします。



シャッターリリースボタンをクリックしてコンピュータのカメラで画像をキャプチャするか、画面上の QR コードをモバイルデバイスでスキャンしてフロントカメラでセルフイーを撮ります。

方法	ステップ
顔モデルを使用する	<p>1. 既存の顔モデルを使用するをクリックします。</p> <p>注意：VIVERSE アバターシステムのアップグレード（2024/8/22）前に作成された顔モデルは、現在のシステムでは適用されず、削除されます。写真を撮るをクリックしてセルフィーを撮るか、既存の写真を使用して新しい顔モデルを作成します。</p> <p>2. 私の顔タブで、アバターを作成するために使用する顔モデルを選択し、次へをクリックします。</p> <p>ヒント：デフォルトの顔タブからデフォルトの顔モデルを選択することもできます。</p>

7. アバターに衣服とアクセサリを選択し、**保存**をクリックします。

8. **次へ**をクリックします。

新しいアバターはマイアバターに追加され、アクティブなアバターとして設定されます。



- アバターをクリックし、メニューボタン **⋮** をクリックしてオプションを表示します。メニューから、アバターを VRM ファイルとしてエクスポートするか、削除することができます。
- 衣装作成ツールを使用して、リアルアバターの服装を作成できます。服装を作成および編集するには、VIVERSE ポイントが必要です。カスタム服装を作成する前に、ミッションを選択して完了し、ポイントを獲得してください。

衣装作成ツールを使用するには、**服装タブ**をマイアバターページでクリックし、利用可能なツールを使用してアウトフィットを作成およびカスタムします。服装を作成した後、リアルアバターを編集し、新しい服装を適用します。

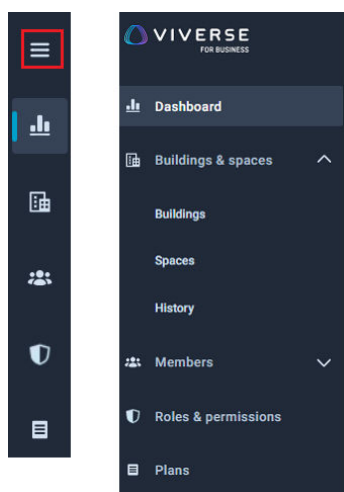
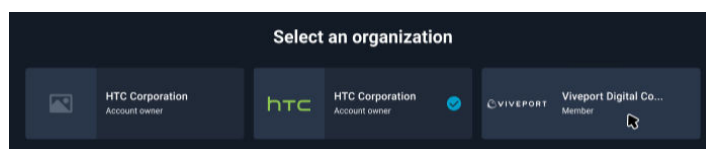
メンバー、ビル、スペースを管理する


VIVERSE for Business 管理コンソールにサインインする

VIVERSE for Business 管理コンソールは、VIVERSE for Business の仮想環境とメンバーの権限を管理できるセキュアなエンタープライズレベルのウェブベースプラットフォームです。次の役割を持つメンバーだけが管理者権限を持ち、管理コンソールへのアクセスが許可されます：アカウントオーナー、ビルオーナー、スペースオーナー。これらの役割についての詳細については、[VIVERSE for Business 内の役割の種類](#)（P.14）をご覧ください。

VIVERSE for Business 管理コンソールへのサインイン方法は次のとおりです：

1. ウェブブラウザを使用して、[VIVERSE for Business 管理コンソール](#)にアクセスします。
2. スタートをクリックし、サインイン方法を選択してから、ビジネスアカウントでサインインします。
3. これが初めての管理コンソールへのサインインの場合、管理コンソールに進む前に、利用規約とプライバシーポリシーを確認して同意する必要があります。
4. 選択できる組織が複数ある場合は、アクセスする組織を選択します。



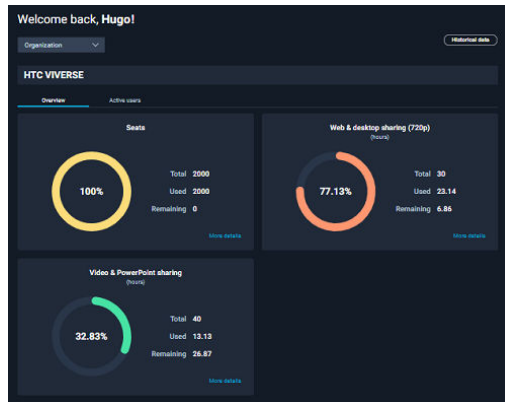
管理コンソールが開くと、左側にサイドバーが表示されます。サイドバーが折りたたまれている場合、メニューボタンをクリックしてサイドバーを展開し、完全なナビゲーションメニューを表示します。サイドバーが折りたたまれている場合、他のボタンをクリックして個々のメニューアイテムに直接アクセスすることもできます。

注意：ナビゲーションメニューの各セクションにある利用可能なオプションは、ご自身の役割によって異なります。

ダッシュボードを表示する

管理コンソールにサインインした後に最初に表示されるのは、VIVERSE for Business 環境のリソース使用状況に関する情報を示すダッシュボードです。

左上のドロップダウンメニューをクリックし、組織、建物、またはスペースのリソース使用情報の表示を選択します。



選択した表示タイプに応じて、以下の情報が表示されます：

- シート数の利用
- 日付ごとのアクティブユーザー数
- **Web** とデスクトップの共有：利用可能な合計時間数、利用時間数、および Web/PC デスクトップコンテンツ共有の残り時間を表示します
- **ビデオ** と **PowerPoint** の共有：利用可能な合計時間数、利用時間数、およびビデオ/PowerPoint®ファイル共有の残り時間を表示します



月初には、VIVERSE for Business のコンテンツ共有制限が更新されます。

右上の履歴データをクリックして、月または年別のリソース使用統計を表示します。開始月と終了月を選択して、選択した期間にわたるリソース使用の比較を表示します。



VIVERSE for Business 内の役割の種類

VIVERSE for Business の各要素への管理アクセス権を持つ役割は以下の通りです。

アカウントオーナー

アカウントオーナーは、VIVERSE for Business 環境で設定された組織を管理するために指定された管理者です。

最初に指定されたアカウントオーナーが、VIVERSE for Business 管理コンソールへのアクセス権を持つ最初の管理者となります。最初のアカウントオーナーは、より多くのアカウントオーナーを割り当てることができます。

アカウントオーナーは、以下の管理権限を持ちます。

- 同一組織内のビルにシートを割り当てる。[シートの分散 \(P.15\)](#) をご覧ください。
- 組織を管理するアカウントオーナーを追加する。[アカウントオーナーを割り当てる \(P.16\)](#) をご覧ください。
- メンバーをビルオーナーに割り当てる。[ビルオーナーを割り当てる \(P.16\)](#) をご覧ください。
- アカウントオーナーとビルオーナーを削除する。

ビルオーナー

各ビルには、少なくとも一人のビルオーナーがいる必要があります。アカウントオーナーは、最初のビルオーナーを割り当てる必要があります。

ビルオーナーは、以下の管理権限を持ちます。

- ビルオーナーを追加で割り当てる。[ビルオーナーを割り当てる \(P.16\)](#) をご覧ください。
- ビルメンバーを追加する。[ビルにメンバーを追加する \(P.17\)](#) をご覧ください。
- ビルメンバーを削除する。
- 永続スペースオーナーを割り当てる。[スペースオーナーを割り当てる \(P.17\)](#) をご覧ください。

スペースオーナー

各永続スペースには、少なくとも 1 人のスペースオーナーがいる必要があります。ビルオーナーは、各永続スペースに最初のスペースオーナーを割り当てる必要があります。

スペースオーナーは、以下の管理権限を持ちます。

- 永続スペースオーナーを追加で割り当てる。[スペースオーナーを割り当てる \(P.17\)](#) をご覧ください。
- スペースオーナーを削除する。
- 永続スペースにビルメンバーを追加する。[永続スペースにメンバを追加する \(P.18\)](#) をご覧ください。

メンバー

メンバーは、ビルへのアクセス権を与えられたユーザーです。新しいユーザーをビルメンバーとして追加すると、自動的に組織メンバーとして追加されます。詳細については、[ビルにメンバーを追加する](#) (P.17) をご覧ください。

セッションオーナー

セッションを作成するメンバーは、セッションオーナーです。詳細については、[VIVERSE for Business アプリでセッションを作成する](#) (P.40) をご覧ください。

仮想スペースの種類

VIVERSE for Business ビルには、以下の種類の仮想空間があります：

スペースの種類	説明
オープンスペース	メンバーが動き回ったり、永続的でダイナミックなスペースにアクセスできるビル内の共有スペースです。
永続スペース	コンテンツの保存や継続中のコラボレーションに使用される専用の仮想スペースです。永続的空間に追加されたメンバーのみがアクセスできます。詳細については、 永続スペースにメンバを追加する (P.18) をご覧ください。 メンバーが永続的空間を離れても、オブジェクトはその空間に残ります。スペースオーナーだけがスペースをクリアする管理権限を持っています。
ダイナミックスペース	ビルのメンバー全員がアクセスできる共有バーチャルスペースです。ダイナミックスペースで一定期間セッションをスケジューリングし、ビルメンバーを参加者として招待することができます。 VIVERSE for Business アプリでセッションを作成する (P.40) および VIVERSE for Business ユーザーコンソールを通じてセッションを作成する (P.41) を参照して、セッションの作成方法を確認してください。 スペースから退出する際、共有オブジェクトをスペースに残すか、削除するかを選択することができます。

シートの分散

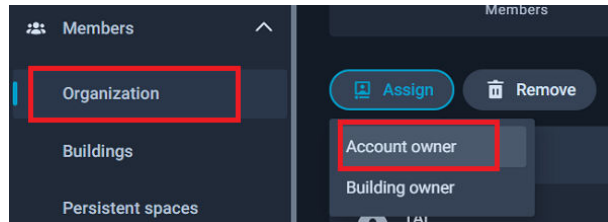
アカウントオーナーは、ビル間でシートを分散させたり、各ビルに入場できるメンバー数を変更したりすることができます。その方法は以下の通りです。

1. 管理コンソールにサインインします。詳細については、[VIVERSE for Business にサインインする](#) (P.27) をご覧ください。
2. 左側のメニューで、ビルとスペースをクリックします。
3. ビルをクリックし、次に席の配布をクリックします。
4. 各ビルの座席数を調整するには、+ ボタンまたは - ボタンをクリックします。
5. 変更を保存するには、保存をクリックします。

アカウントオーナーを割り当てる

アカウントオーナーは、メンバーをアカウントオーナーとして割り当てることができます。その方法は以下の通りです。

1. 管理コンソールにサインインします。詳細については、[VIVERSE for Business にサインインする](#) (P.27) をご覧ください。
2. 左側のメニューで、メンバーをクリックします。
3. 組織をクリックし、割り当てる > アカウントオーナーをクリックします。

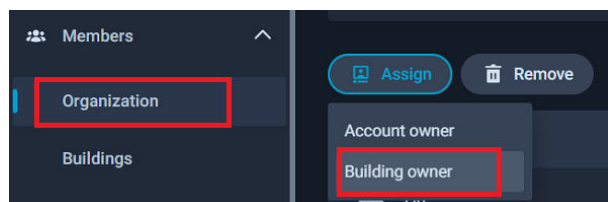


4. アカウントオーナーとして割り当てたいメンバーを選択します。
5. 割り当てるをクリックします。

ビルオーナーを割り当てる

アカウントオーナーまたはビルオーナーは、さらにビルオーナーを割り当てることができます。その方法は以下の通りです。

1. 管理コンソールにサインインします。詳細については、[VIVERSE for Business にサインインする](#) (P.27) をご覧ください。
2. 左側のメニューで、メンバーをクリックします。
3. 組織をクリックし、割り当てる > ビルオーナーをクリックし、ビルを選択します。



また、ビルの下にあるメンバーをクリックし、ビルを選択して、割り当てる > ビルオーナーをクリックすることもできます。

4. ビルオーナーとして割り当てたいメンバーを選択します。
5. 割り当てるをクリックします。

ビルにメンバーを追加する

ビルオーナーは、ビルにメンバーを追加することができます。その方法は以下の通りです。

1. 管理コンソールにサインインします。詳細については、[VIVERSE for Business にサインインする](#) (P.27) をご覧ください。
2. 左側のメニューで、**メンバー**をクリックします。
3. ビルをクリックし、ビルを選択してから、**メンバーを追加**をクリックします。
4. **メンバーを追加**の方法を選択します。

方法	ステップ
手動で追加	<ol style="list-style-type: none"> 1. メンバーとして招待・追加したいユーザーのメールアドレスを入力し、役職名を入力します。 2. 追加するをクリックして、ユーザーを追加します。 3. ユーザーの追加が完了したら、次へをクリックします。 <p>招待されたユーザーは、組織メンバーおよびビルメンバーとして追加されます。</p>
組織メンバーから選択	ビルに追加したいメンバーを選択します。
CSVによるメンバー追加	<p>以下の手順で、メンバー情報を含む CSV ファイルをアップロードします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テンプレートのダウンロードをクリックして、CSV テンプレートをダウンロードします。 2. CSV テンプレートガイドラインをクリックし、メンバー情報を入力する際には指示に従ってください。 3. CSV ファイルをアップロードする準備ができたなら、ファイルをボックスにドラッグするか、ファイルの選択をクリックして、コンピュータ上の CSV ファイルを選択します。

5. **追加**をクリックします。

スペースオーナーを割り当てる

ビルオーナーまたはスペースオーナーは、より多くのスペースオーナーを割り当てることができます。その方法は以下の通りです。

1. 管理コンソールにサインインします。詳細については、[VIVERSE for Business にサインインする](#) (P.27) をご覧ください。
2. 左側のメニューで、**メンバー**をクリックします。

3. 永続スペースをクリックし、スペースを選択してから、割り当てる > スペースオーナーをクリックします。



また、ビルの下にあるメンバーをクリックし、ビルを選択してから、割り当てる > スペースオーナーをクリックすることもできます。

4. スペースオーナーとして割り当てたいメンバーを選択します。
5. 割り当てるをクリックします。

永続スペースにメンバを追加する

スペースオーナーは、永続スペースにメンバを追加することができます。追加できるのは、永続スペースのあるビルのメンバーのみです。ここでは、永続スペースにビルメンバーを追加する方法をご紹介します。


1. 管理コンソールにサインインします。詳細については、[VIVERSE for Business にサインインする \(P.27\)](#) をご覧ください。
2. 左側のメニューで、メンバー > 永続的スペースをクリックします。
3. 永続的スペースページで、メンバーを追加したいスペースをクリックします。
4. メンバータブで、メンバーの追加をクリックします。
5. スペースに追加したいメンバーを選択します。
6. 追加をクリックします。

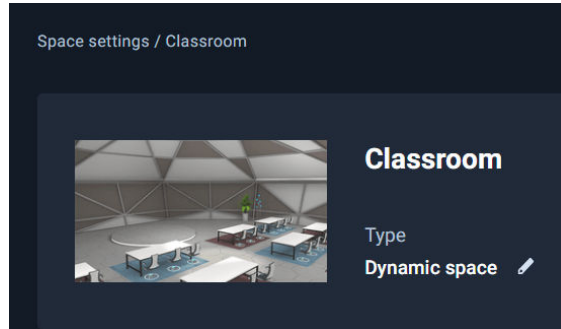
プライベートアクセスのスペースのスペースタイプを変更する

プライベートアクセスのスペースでは、オープンスペース、永続的スペース、動的スペースを含め、組織メンバーのみがこれらのスペースに入ることができます。

プライベートアクセスの永続的スペースおよび動的スペースでは、建物とスペースのオーナーがスペースタイプを変更できます。以下の方法で選択できます：

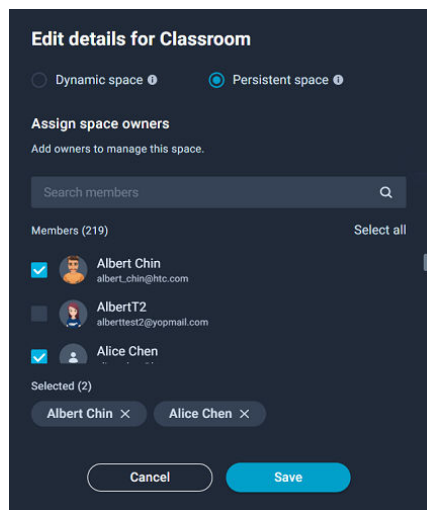
1. 管理コンソールにサインインします。詳細については、[VIVERSE for Business にサインインする \(P.27\)](#) をご覧ください。
2. 左側のメニューで、建物とスペース > スペースをクリックします。
3. リストで、スペースタイプを変更したいスペースをクリックします。スペースの詳細が表示されます。

4. タイプの下で、編集ボタンをクリックします。



5. 変更したいスペースタイプを選択します。

スペースタイプを永続的スペースに変更する場合、スペースに割り当てたいスペースオーナーを選択します。



6. 変更を保存するには、保存をクリックします。

コンテンツのアップロードとダウンロード

VIVERSE for Business ユーザーコンソールについて

VIVERSE for Business ユーザーコンソールは、ファイルをアップロードしたり、ウェブサイトをブックマークしたり、バーチャルセッションを作成したりするためのクラウドストレージスペースを提供し、VIVERSE for Business VR およびデスクトップアプリでアクセスできるようにします。

VIVERSE for Business で作成したコンテンツは、コンピュータにダウンロードすることもできます。

ここでは、VIVERSE for Business ユーザーコンソールで実行できることをご紹介します。

- 画像、ビデオ、PDF をアップロードします。詳しくは、以下の項目をご覧ください。
 - [VIVERSE for Business で閲覧できるファイルの種類 \(P.21\)](#)
 - [VIVERSE for Business へファイルをアップロードする \(P.21\)](#)
- お気に入りのウェブサイトをブックマークします。ブックマークの追加、変更、削除 (P.23) をご覧ください。
- ビルの地図をご覧ください、各ビルにどのような持続/動的スペースがあるかをご確認ください。また、ビルやスペースのオーナーが誰であるかも確認することができます。
- VIVERSE for Business で作成・保存したスクリーンショットやその他のファイルをダウンロードすることができます。バーチャルスペースで作成したスクリーンショットやその他のファイルをダウンロードする (P.24) をご覧ください。
- PC から PowerPoint ファイルをアップロードしたり、リモートデスクトップを使用したりするために使用できるツールをダウンロードします。VIVERSE アドオンをインストールする (P.25) をご覧ください。
- バーチャルセッションを作成し、メンバーを招待します。VIVERSE for Business ユーザーコンソールを通じてセッションを作成する (P.41) をご覧ください。

VIVERSE for Business で閲覧できるファイルの種類

現在、VIVERSE for Business では、以下のファイル形式に対応しています。順次、対応フォーマットを増やしていく予定です。

ファイルの種類	フォーマット
ドキュメント	<ul style="list-style-type: none"> ▪ PDF ▪ PowerPoint
ビデオ プレイヤー	<ul style="list-style-type: none"> ▪ MP4 ▪ AVI ▪ MOV
3D モデル	<ul style="list-style-type: none"> ▪ Unity Asset Bundle (.ab) ▪ FBX (.fbx) ▪ OBJ (.obj) ▪ glTF (.gltf/ .glb)
画像 (テクスチャ)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ PNG ▪ JPEG (ベースライン、プログレッシブ - 12 bpc/演算は非対応) ▪ BMP (non-1bpp, non-RLE) ▪ TIFF

VIVERSE for Business で表示するには、ファイルをアップロードする必要があります。詳しくは、[VIVERSE for Business へファイルをアップロードする \(P.21\)](#) をご覧ください。

VIVERSE for Business へファイルをアップロードする

仮想空間でファイル - PDF、ビデオ、3D モデル、画像 - を表示する前に、それらを VIVERSE for Business クラウドストレージスペースにアップロードする必要があります。



PowerPoint ファイルを VIVERSE for Business にアップロードするには、VIVERSE ファイルマネージャーを使用する必要があります。詳細については、[PowerPoint ファイルをアップロードする \(P.25\)](#) をご覧ください。

1. ウェブブラウザで、[VIVERSE for Business ユーザーコンソール](#)にアクセスし、HTC アカウントでサインインします。
2. ウェブページの上で、[ライブラリ](#)をクリックします。左側のメニューで、ファイルが自動的に選択されます。



デフォルトでは、アップロードされたすべてのファイルが表示されます。ファイルの種類をクリックすると、種類別にリストを絞り込むことができます。

3. アップロードしたファイルのタブで、 > ファイルアップロードをクリックします。

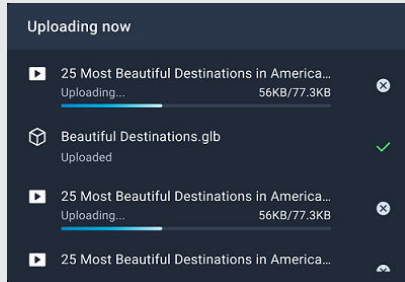



アップロードできるファイル形式を確認するには、[VIVERSE for Business](#) で閲覧できるファイルの種類 (P.21) をご覧ください。

4. アップロードしたいファイルを選択し、開くをクリックします。

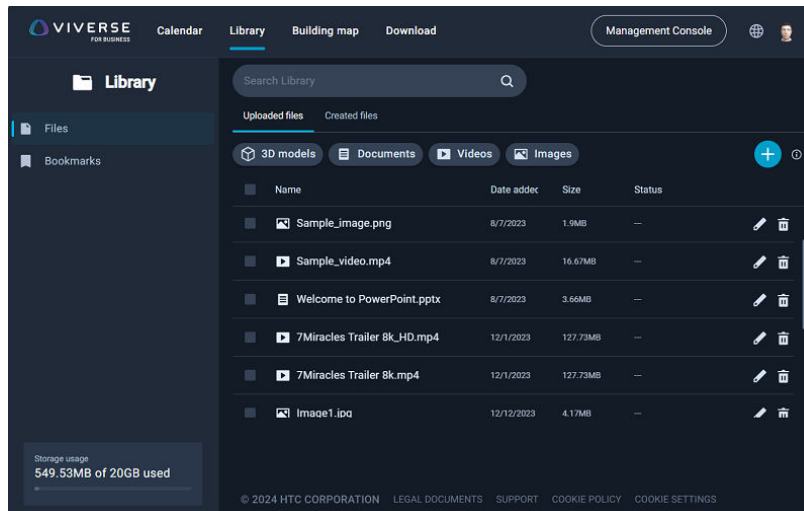


複数のファイルをアップロードすると、アップロードの進行状況が右下のパネルに表示されます。







- 保留中のファイルアップロードをキャンセルするには、そのファイル名の横にある  をクリックします。
- 変換中のファイルアップロードはキャンセルできません。

アップロードしたファイルは、対応するファイルの種類の下に追加されます。ファイルの種類をクリックして、ファイルリストをフィルタリングすることができます。



また、アップロードされたファイルに対して、以下のいずれかの操作を行うこともできます。

アクション	ステップ
ファイル名の変更	 をクリックします。
ファイルの削除	 をクリックします。
複数ファイルの削除	ファイルを選択し、リストの上にある  をクリックします。
すべてのファイルの削除	リストの上にあるチェックボックスを選択し、  をクリックします。

360°動画のアップロード

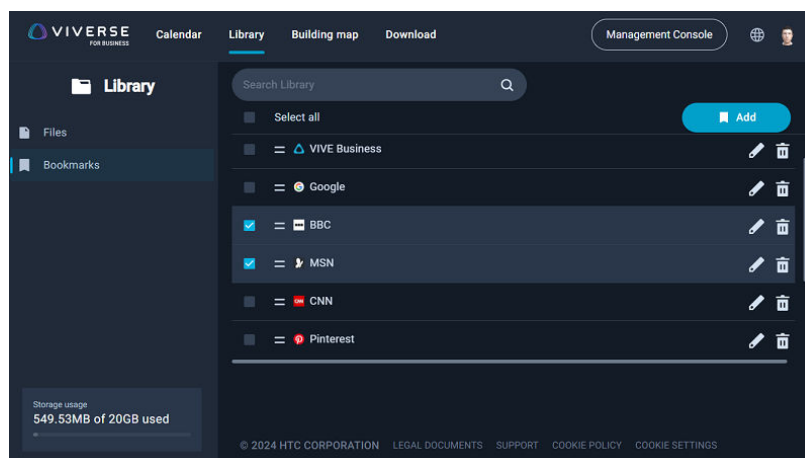
VIVERSE for Business に 360°ビデオをアップロードする方法は次のとおりです：





1. ウェブブラウザで、**VIVERSE for Business ユーザーコンソール**にアクセスし、HTC アカウントでサインインします。
2. ウェブページの上部で、**ライブラリ**をクリックします。左側のメニューで、ファイルが自動的に選択されます。
3. アップロードしたファイルのタブで、**+ > 360°ビデオアップロード**をクリックします。
4. コンピュータからアップロードしたい 360°ビデオファイルを選択し、**開く**をクリックします。


ブックマークの追加、変更、削除

ウェブサイトへのリンクをブックマークとして追加できるので、VIVERSE for Business のウェブブラウザを使用しているときにアクセスすることができます。また、ブックマークの変更や削除もできます。

1. ウェブブラウザで、**VIVERSE for Business ユーザーコンソール**にアクセスし、HTC アカウントでサインインします。
2. ウェブページの上部で、**ライブラリ**をクリックします。
3. 左側のメニューで、**ブックマーク**をクリックします。以下のいずれかを実行できます：



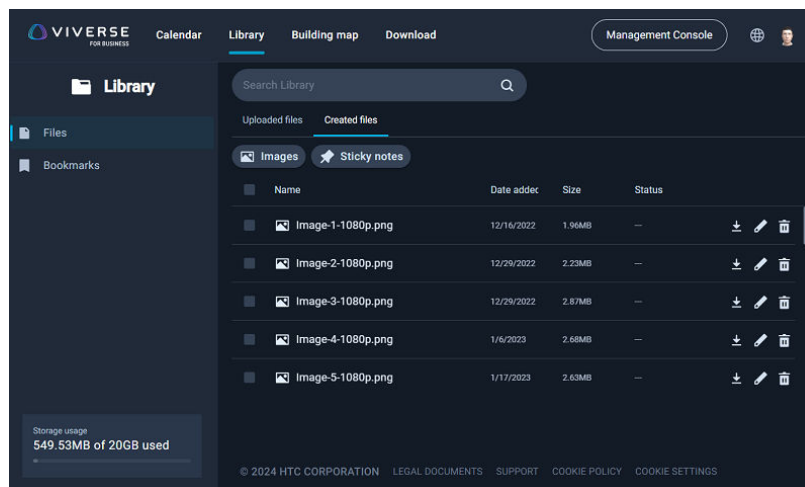
タスク	手順
ブックマークの追加	追加をクリックします。
ブックマークの並べ替え	ブックマークの左側にあるドラッグハンドル  を使用します。
ブックマークの編集	 をクリックします。
ブックマークの削除	 をクリックします。
複数のブックマークの削除	ブックマークを選択し、リストの上にある  をクリックします。

タスク	手順
すべてのブックマークの削除	リストの上にあるチェックボックスを選択し、  をクリックします。

バーチャルスペースで作成したスクリーンショットやその他のファイルをダウンロードする




バーチャルスペースで作成したスクリーンショット、ホワイトボードに描いた絵、付箋などのファイルをコンピュータにダウンロードする方法をご紹介します。

1. ウェブブラウザで、**VIVERSE for Business** ユーザーコンソールにアクセスし、HTC アカウントでサインインします。
2. ウェブページの上部で、**ライブラリ**をクリックします。左側のメニューで、ファイルが自動的に選択されます。
3. **ファイルの作成タブ**をクリックします。







デフォルトでは、作成したすべてのファイルが表示されます。コンテンツタイプをクリックすると、タイプ別にリストを絞り込むことができます。

4. ファイルをダウンロードするには、以下のいずれかを行います。

タスク	手順
ファイルのダウンロード	 をクリックします。
複数のファイルのダウンロード	ファイルを選択し、リストの上にある  をクリックします。
すべてのファイルのダウンロード	リストの上にあるチェックボックスを選択し、  をクリックします。

ファイルは、ZIP パッケージとしてコンピュータにダウンロードされます。

ファイルリストから以下の操作を行うこともできます。

アクション	ステップ
ファイル名の変更	 をクリックします。
ファイルの削除	 をクリックします。
複数ファイルの削除	ファイルを選択し、リストの上にある  をクリックします。
すべてのファイルの削除	リストの上にあるチェックボックスを選択し、  をクリックします。

VIVERSE アドオンをインストールする

VIVERSE アドオンには以下のツールが含まれます。

ツール	説明
VIVERSE ファイルマネージャー	コンピュータから PowerPoint ファイルをアップロードします。
VIVERSE バーチャルウェブコム	バーチャルスペースで Microsoft Teams®と Zoom™の通話を行います。 注意：この機能は、VIVE XR Elite ではサポートされていません。
VIVERSE リモートデスクエージェント	バーチャルスペースからコンピュータにリモートアクセスします。

インストーラーをダウンロードするには、[VIVERSE for Business ダウンロード](#)のウェブページにアクセスし、左側のメニューから**その他のツール**をクリックし、**VIVERSE アドオン**をクリックします。コンピュータのインストーラーを起動し、インストールしたいツールを選択します。

PowerPoint ファイルをアップロードする

PowerPoint ファイルを VR で正しく表示するためには、ファイルの変換が必要です。VIVERSE ファイルマネージャーを使用して PowerPoint ファイルを変換し、VIVERSE にアップロードする必要があります。VIVERSE ファイルマネージャーのインストール方法の詳細については、[VIVERSE アドオンをインストールする \(P.25\)](#) をご覧ください。

VIVERSE ファイルマネージャーの使用方法は以下の通りです。

1. コンピュータで、VIVERSE ファイルマネージャーを起動し、HTC アカウントでサインインします。
2. ファイルの追加をクリックします。

3. アップロードしたい PowerPoint ファイルを選択し、開くをクリックします。
4. アップロードをクリックします。
ファイルの変換とアップロードが完了すると、ステータスが完了に変更されます。



PowerPoint ファイルは **VIVERSE for Business** ユーザーコンソールのクラウドストレージにアップロードされます。ウェブサイトにサインイン後、**ライブラリ** > **ファイル** をクリックします。アップロードされたファイルタブで、**ドキュメント** をクリックしてファイルリストをフィルタリングし、PPT ファイルを表示します。

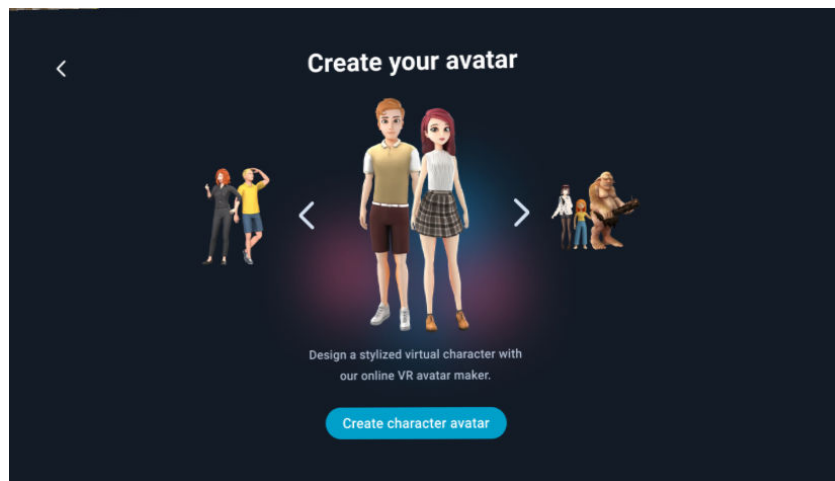
アップロードしたファイルは、削除するまでクラウドストレージ空間に保存されます。

VIVERSE for Business に進む

VIVERSE for Business にサインインする

ここでは、VR ヘッドセットで VIVERSE for Business にサインインする方法をご紹介します。

1. ライブラリで、**VIVERSE for Business** を起動します。
2. HTC アカウントでサインインするか、**アカウントの作成**を選択して新規アカウントを作成します。
3. VIVERSE for Business に初めてサインインする場合は、VIVERSE、利用規約、プライバシーポリシーをお読みください。確認後、**承諾**を選択します。
4. 既存のアバターがない場合は、画面の指示に従ってアバターを作成します。



HTC アカウントに既存のアバターが保存されている場合、現在アクティブなアバターとして設定されているアバターがデフォルトで使用されます。



アバターの作成方法の詳細については、[アバターを作成する](#) (P.8) をご覧ください。

5. 画面の指示に従って身長を設定し、所属する組織を選択し、入場したいビルを選択します。

VR コントローラーで VIVERSE for Business をナビゲートする

VR ヘッドセットとコントローラーのタイプにより、コントローラーのサムスティック、ジョイスティック、またはトラックパッドで、VIVERSE for Business の仮想空間をナビゲートします。

回転する

以下のいずれかを実行してください。

- サムスティックまたはジョイスティックを左右に傾けます。
- トラックパッドを左右にスワイプします。

テレポートする



1 以下のいずれかを実行してください。

- サムスティックまたはジョイスティックを前方に倒します。
- トラックパッドを長押しします。

2 青い円弧を行きたいところに向けてからリリースします。

ビル内のフロアを切り替える



フロアガイドで、移動したいフロアにビームを向けてから、トリガーを押します。

スペースに入る

詳細については、[持続的でダイナミックな空間に入る \(P.36\)](#) をご覧ください。

バーチャルチェアを選択する



- 1 以下のいずれかを実行してください。
 - サムスティックまたはジョイスティックを前方に倒します。
 - トラックパッドを長押しします。
- 2 青い円弧を椅子のベースに向けてからリリースします。



立っている場合、アバターを座らせるためには物理的にご自身が座る必要があります。

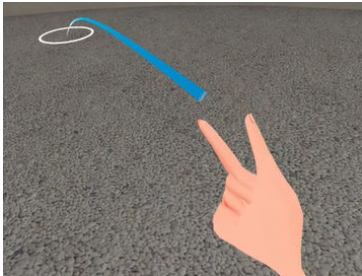
ハンドジェスチャーで VIVERSE for Business をナビゲートする



現在、ハンドトラッキングは VIVE XR Elite でのみご使用いただけます。

VIVERSE for Business を操作するためのハンドジェスチャーの使い方は次のとおりです：

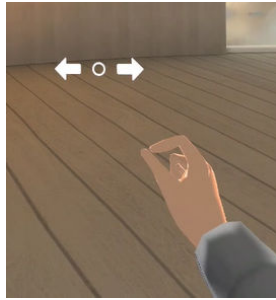
テレポートする



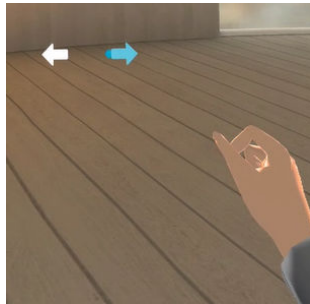
1. 手のひらを上にして握りこぶしを作り、親指と人差し指を開きます。
2. 青い弧を行きたいところに向けて、ピンチします。

回転する

1. 手のひらを横に向けて握りこぶしを作り、親指と人差し指を開きます。矢印ボタンが表示されます。



2. 親指と人差し指を合わせ、円を右矢印の方向にドラッグすると右に、左矢印の方向にドラッグすると左に曲がります。



ビル内のフロアを切り替える



フロアガイドで、行きたいフロアにビームを向けてから、ピンチで選択します。

スペースに入る

詳細については、[持続的でダイナミックな空間に入る \(P.36\)](#) をご覧ください。

バーチャルチェアを選択する



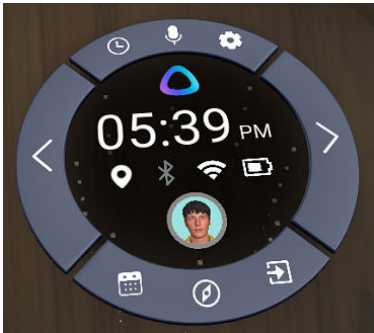
- 1 手のひらを上にして握りこぶしを作り、親指と人差し指を開きます。
- 2 青い弧を椅子のベースに向け、ピンチします。

VIVERSE メニューの開閉

詳細については、[VIVERSE メニュー](#) (P.31) をご覧ください。

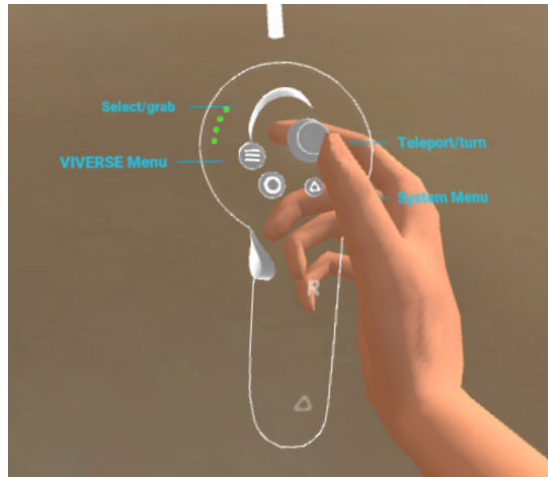
VIVERSE メニュー

VIVERSE メニューから、セッションにアクセスしたり、ツールを選んだり、ファイルを開いたり、コンテンツを表示したり、各種操作を実行することができます。



VIVERSE メニューの開閉

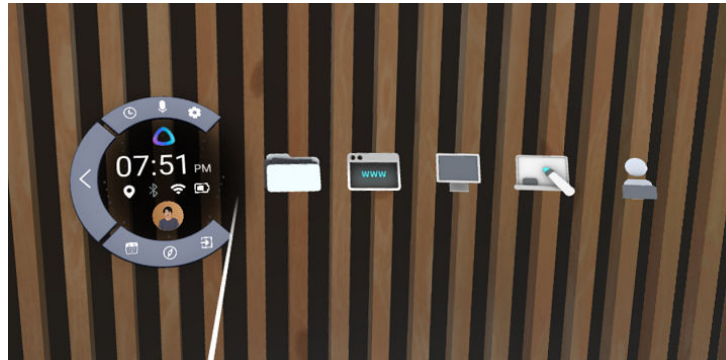
- コントローラ：仮想コントローラーの VIVERSE メニューボタンを押すと、VIVERSE メニューが開きます。もう一度ボタンを押して、メニューを閉じます。



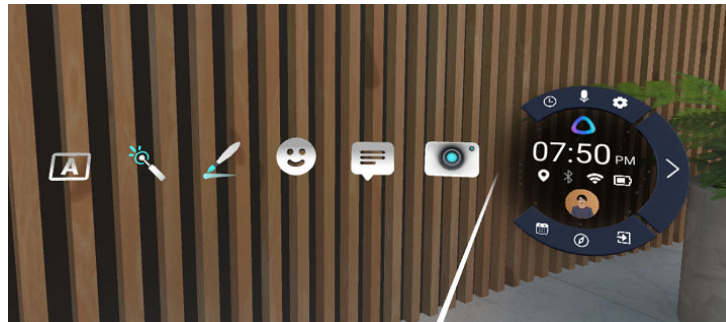
- ハンドジェスチャー：左の手のひらを内側に向けます。メニューアイコンが表示されたら、親指と人差し指をピンチして、VIVERSE メニューを開きます。同じハンドジェスチャーでメニューを閉じます。

ツール、コンテンツウィンドウ、コントロール







- VIVERSE メニューの右側にビームを浮かべて、コンテンツを表示するために使用できる各種コンテンツウィンドウから選択します。詳細については、[コンテンツウィンドウの種類](#) (P.52) をご覧ください。



- メニューの左側にビームを当て、利用可能なツールから選択します。詳細については、[ツールを選択する](#) (P.45) をご覧ください。



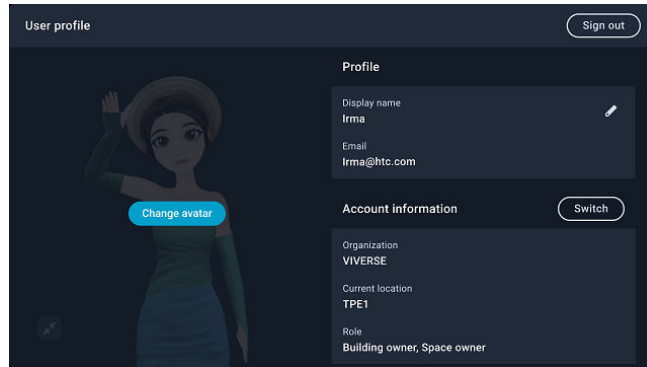
- メニューの上側と下側には、以下のコントロールがあります：

アイコン	説明
	離席する：自身のステータスを変更します。
	ミュート：マイクをミュートまたはミュート解除します。
	設定：VIVERSE for Business の設定を変更します。
	カレンダー：セッションを作成し参加する。
	マップ：各階のバーチャルスペースの地図をご覧ください。地図上のスペースを選択すると、そのスペースに入ることができます。
	オープンスペースに戻る：現在のスペースから退出します。

アバターの変更

ここでは、異なる外見のアバターを複数作成した場合、VIVERSE for Business でアバターを変更する方法をご紹介します：

1. VIVERSE メニューを開き、アバター画像を選択します。
2. ビームを左側にある現在のアバターに向け、アバターの**変更**を選択します。




3. 使用するアバターを選択し、**アクティブとして設定**を選択します。

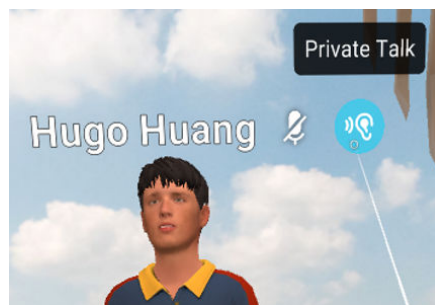


また、**編集**を選択してキャラクターアバターに変更を加えたり、**新規アバターの作成**を選択して新しいキャラクターアバターを作成することもできます。

プライベートトーク

プライベートトークで、他のユーザーに会話を聞かれることなく、相手と話すことができます。

1. ビームを話したい相手に向けます。
2. 相手のアバターの**上にあるプライベートトークボタン**  を選択します。



3. 相手が電話に出るのを待ちます。相手が出た場合、その人と個人的に話をするができます。




会話を保留にしたり、再開したり、終了することができます。

セーフゾーン

セーフゾーンは、バーチャルスペース内で他のユーザーと安全な距離を保つことで、ハラスメントの可能性からユーザーを守ります。セーフゾーンの境界線との距離を設定することができます。

ここでは、セーフゾーンを有効にする方法を説明します。

1. VIVERSE メニューを開き、設定  を選択します。
2. プライバシーで、セーフゾーンをオンにし、以下の設定のいずれかを変更します。

設定	説明
半径	セーフゾーンの境界線との距離を選択します。
ミュート	セーフゾーン内のユーザーの音声をミュートします。
ネームプレートの非表示	ユーザーのネームプレートをセーフゾーンの中で非表示にします。

ここでは、VR におけるセーフゾーンの機能を説明します。

- セーフゾーンを指しながら、トリガーを押し続けると、セーフゾーンの境界線が表示されます。



- ユーザーがセーフゾーンの境界を越えると、お互いに見えなくなります。
- シートにテレポートした場合（またはスペースオーナーによってシートにロックされた場合）、一時的にセーフゾーンを無効にすることができます。席を離れると、セーフゾーンが再び有効になります。
- また、360°モードで動画を視聴しているときは、セーフゾーンが一時的に無効になります。360°モードを終了すると、セーフゾーンが再び有効になります。



- プライベートトークは、セーフゾーン内にいるユーザーとは使用できません。
ユーザーとプライベートトークセッション中にそのユーザーのセーフゾーンに入ると、プライベートトークが優先され、セッションが終了するか、そのユーザーのセーフゾーンから出るまで、そのユーザーのセーフゾーンは一時的に無効になります。
- VIVERSE for Business のデスクトップアプリとモバイルアプリのセーフモードの詳細については、デスクトップとモバイルアプリでのセーフゾーンの仕組み (P.94) をご覧ください。

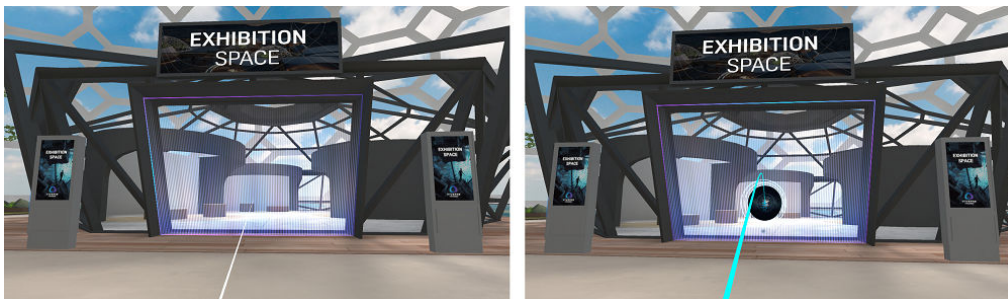
持続的でダイナミックな空間に入る

VIVERSE for Business の環境をナビゲートすると、ビル内にいくつかの持続的でダイナミックな空間が存在することがわかります。これらの空間の違いについての詳細は、[仮想スペースの種類](#) (P.15) をご覧ください。

持続的でダイナミックな空間に入るための各種方法は以下の通りです：

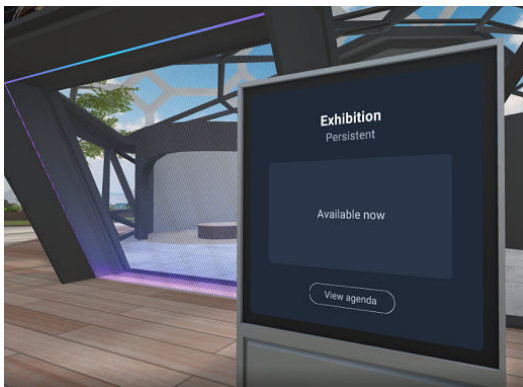
入り口から

入り口にビームを向けます。入り口ポータルが表示されたら、そのポータルを選択して空間に入ります。



予定一覧ボードから


持続的またはダイナミックな空間の外部には、その空間の利用可能性に関する情報を表示する予定一覧ボードがあります。空間に入るには、**予定一覧の表示**を選択し、次に**空間に入る**を選択します。



その後、入り口に入り口ポータルが表示されます。ポータルを選択して空間に入ります。

ビルのマップから

ビルのマップを見て、入りたい空間を選ぶことができます。以下の方法で選択できます：

1. VIVERSE メニューを開き、次にマップ  を選択します。現在のフロアのマップビューが表示されます。



マップウィンドウの右上から、フロアを切り替えたり、マップビューとグリッドビューを切り替えたりすることができます。

2. マップビューまたはグリッドビューで、入りたい空間を選択します。

スペースのアクセス許可を管理する

スペースのオーナーであれば、VIVERSE for Business のスペース管理で、スペースのアクセス許可を管理することができます。所有するスペースに進み、VIVERSE メニューを開き、メニューの右側からスペースの管理を選択します。



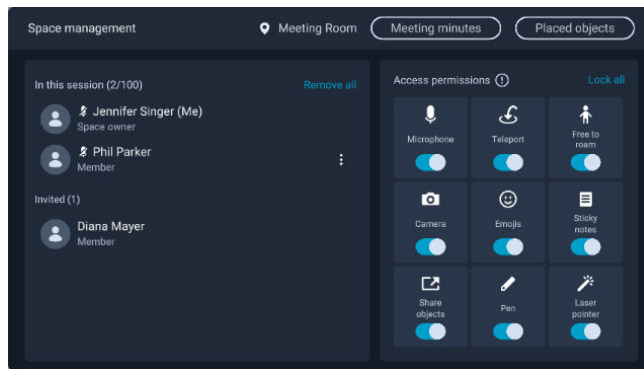
ビルのオーナーである場合、ビルのオープンスペースのオーナーでもあります。

スペースの管理で実行できることは以下の通りです。

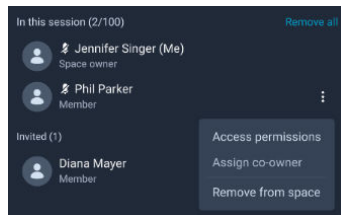
- スペースにいるすべての人が利用できるツールや機能を選択します。
- スペース内の特定のメンバーに対して、ツールや機能を有効または無効にします。
- スペースを管理する共同オーナーを割り当てます。
- 自分のスペースからメンバーを削除します。
- 自分のスペースからオブジェクトを削除します。

ツールおよび機能の有効化/無効化

スペースの管理ウィンドウの右側には、スペースで利用可能な各ツール・機能が表示されます。ツールまたは機能のトグルを選択して、有効または無効にします。これらをすべて無効にするには、すべてロックを選択します。



メンバーのアクセス権限を変更するには、メンバーの名前の隣にある **⋮** を選択し、次に**アクセス権限**を選択します。



ツールおよび画面共有機能の詳細については、以下をご覧ください。

- [使用できるツール \(P.45\)](#)
- [コンテンツウィンドウの操作 \(P.54\)](#)

共同オーナーの割り当て

スペースの共同オーナーとしてメンバーを指定するには、メンバーの名前の隣にある **⋮** を選択し、次に**共同オーナーを指定**を選択します。複数のメンバーを共同オーナーとして割り当てることができます。

共同オーナーの権限を削除するには、共同オーナーの名前の隣にある **⋮** を選択し、次に**共同オーナーを削除**を選択します。

スペースからメンバーを削除する

スペースからメンバーを削除するには、メンバーの名前の隣にある **⋮** を選択し、次に**スペースから削除**を選択します。

スペースから全員を削除するには、**すべて削除**を選択します。

オブジェクトを削除する

詳細については、[スペースからオブジェクトを削除する \(P.39\)](#) をご覧ください。

スペースからオブジェクトを削除する

スペースのオーナーは、現在のスペースから任意のオブジェクトを削除することができます。メンバーは、自分が開いたオブジェクトのみを削除できます。

現在のスペースからオブジェクトを削除する方法は次のとおりです：

1. VIVERSE メニューを開き、メニューの右側からスペース管理を選択します。
2. 右上の配置オブジェクトを選択します。
3D モデル、公開コンテンツウィンドウ、大画面がすべてのプライベートオブジェクトの下にリストされます。開いて共有していないコンテンツウィンドウはマイプライベートオブジェクトの下にリストされます。
3. スペースから削除したいオブジェクトを選択し、削除を選択します。



すべての公開オブジェクトまたはプライベートオブジェクトを削除するには、すべてのプライベートオブジェクトまたはマイプライベートオブジェクトの下ですべて削除を選択します。

自分の場所にメンバーを集める

必要に応じて話をしたり、スペースに入力するように導くために、簡単にメンバーのグループをご自身の場所に集めることができます。その方法は以下の通りです。



- この機能を使用するには、ビルのオーナーである必要があり、集めるメンバーとご自身がビルの開いているスペースのいずれかにいなければなりません。
- また、グループを入力するスペースのスペースオーナーである必要があります。




1. VIVERSE メニューを開き、次にスペースの管理を選択します。
2. 右上の **！ > グループを集める** を選択します。
3. 集めたいメンバーを選択し、次に **集める** を選択します。
選択したメンバーは自動的にあなたの場所に移動します。

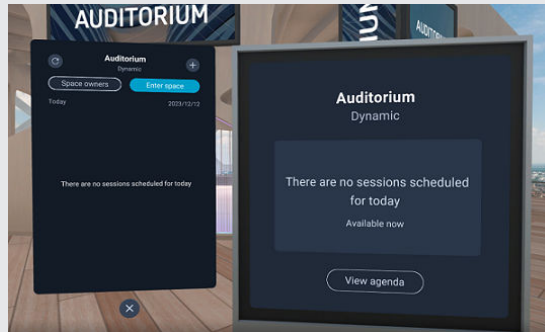
セッションを作成・参加する

VIVERSE for Business アプリでセッションを作成する

セッションとは、招待したメンバーとの会議、アクティビティ、イベントのために、ダイナミックなスペースでスケジュールできる期間のことです。ここでは、セッションの作成方法をご紹介します。

1. 新しいセッションを作成するには、以下のいずれかの操作を行います：

方法	ステップ
VIVERSE メニューから	<ol style="list-style-type: none"> 1. VIVERSE メニューを開き、カレンダーを選択します。カレンダーウィンドウが開き、予定されているセッションが表示されます。 2. 右上のプラスボタンを選択します。 <p>ヒント：マンスリー表示を除くすべてのカレンダービューで時間枠を選択して、新しいセッションを作成することもできます。</p>
ダイナミックスペースから	<ol style="list-style-type: none"> 1. ダイナミックスペースの予定一覧ボードで、予定一覧の表示を選択します。 2. 開いたパネルで、右上のプラスボタンを選択します。



2. セッションのトピックを入力し、日付を選択し、セッションの開始・終了時間を選択します。





- セッション開始の通知を受け取るには、リマインダーを設定します。
- ゲスト（外部メンバーまたは組織のメンバーであるが、ビルのメンバーではない）がオープンスペースに入ることを許可するかどうかを選択できます。
- また、組織のメンバーでない外部ユーザーと共有できるセッションIDとコードを生成することも選択できます。これらのゲストは、VIVERSE for Business でセッションIDとコードを入力することでセッションに参加できます。

3. **スペースの選択**を選択し、予約したいダイナミックスペースを選択してから、**次へ**を選択します。
4. 招待したい参加者を選択します。
テキストボックスに組織のメンバーの名前または外部ユーザーのメールアドレスを入力し、**Enter**を押します。次に、名前またはメールアドレスの隣にあるチェックボックスを選択して、それを**参加者リスト**に追加します。
5. **セッションの作成**を選択します。
6. ウィンドウを閉じるか、変更が必要な場合は**編集**を選択します。

参加者は、セッションの詳細（セッション ID とコード、セッションの日時など）を含むメールを受け取ります。

VIVERSE for Business ユーザーコンソールを通じてセッションを作成する

VIVERSE for Business ユーザーコンソールからも簡単にセッションを作成することができます。その方法は以下の通りです：

1. ウェブブラウザで、**VIVERSE for Business ユーザーコンソール**にアクセスし、HTC アカウントでサインインします。
2. カレンダーのウェブページで、**プラスボタン**  をクリックします。
3. 以下の詳細を入力します。
 - **セッショントピック**
 - **日付**
 - **開始・終了時間**
 - **招待された参加者**：
 - 組織のメンバーを招待するには、参加者アイコン  の隣にあるテキストボックスをクリックし、招待したいメンバーを選択します。
 - 組織のメンバーでない外部のユーザーを招待するには、そのメールアドレスをテキストボックスに入力します。
 - **場所**：セッションで使用するビルとスペースを選択します。
 - **リマインダー時間**



ゲスト（外部メンバーまたは組織のメンバーであるが、ビルのメンバーではない）がオープンスペースに入ることを許可するかどうかを選択できます。

4. セッションの詳細をすべて入力した後、**作成**をクリックします。

セッションは、自身のカレンダーと招待されたメンバーのカレンダーに追加されます。

参加者は、セッションの詳細（セッション ID とコード、セッションの日時など）を含むメールを受け取ります。

セッションに参加する

自分が作成したセッションや招待されたセッションに参加することができます。
セッションに参加する手順は、お使いのデバイスの種類によって異なります。

- **VR ヘッドセット :**
 - a) セッションを選択するには、以下のいずれかの操作を行います :

方法	ステップ
カレンダー ーでセッ ションを 選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. VIVERSE メニューを開き、カレンダー  を選択します。 2. 参加したいセッションを選択します。 
セッショ ン ID と コードを 入力する	<ol style="list-style-type: none"> 1. VIVERSE メニューを開き、カレンダー  を選択します。 2. カレンダーウィンドウの右上でセッション参加を選択し、セッション ID とコードを入力します。

方法	ステップ
ダイナミックスペースからセッションを選択する	1. ダイナミックスペースの予定一覧ボードで、予定一覧の表示を選択します。
	2. 参加したいセッションを選択し、スペースに入るを選択します。

b) 自分の前に現れるポータルまたは入り口にビームを向け、トリガーを押してスペースに入り、セッションに参加します。

- コンピュータまたはモバイルデバイス :

デスクトップとモバイルアプリからセッションを作成・参加する方法 (P.84) をご覧ください。

セッションのオーナーでも参加者でも、セッションが始まる前にファイルをアップロードし、スペースで作成されたスクリーンショットやその他のコンテンツをダウンロードすることができます。詳しくは、以下の項目をご覧ください。

- [VIVERSE for Business](#) へファイルをアップロードする (P.21)
- [360°動画のアップロード](#) (P.23)
- [PowerPoint](#) ファイルをアップロードする (P.25)
- [バーチャルスペースで作成したスクリーンショットやその他のファイルをダウンロードする](#) (P.24)

ミーティングを録画する


会議議事録機能は、セッション中のライブディスカッションをキャプチャし、優先言語で会議メモに要約します。スペースオーナーおよび共同オーナーはこの機能を使用できます。



この機能はデフォルトでは利用できません。[VIVERSE for Business](#) プランに含めて有効にする必要があります。

セッションで議事録を録音する方法は次のとおりです。

1. 作成したセッション、または共同オーナーとして割り当てられたセッションに参加します。
2. [VIVERSE](#) メニューを開き、[スペースの管理](#)を選択します。
3. 右上の[会議議事録](#)を選択します。

4. 議事録設定ダイアログボックスで、セッションで全員が使用する言語を選択します。
参加者が異なる言語を使用する場合は、複数言語を選択し、話す言語と議事録の言語を選択します。
5. 記録を開始するには、**開始**を選択します。
右上の**議事録の停止**  を選択して録画を停止します。

会議メモは、スペースの所有者と共同所有者に自動的にメールで送信されます。

Outlook カレンダーを VIVERSE for Business カレンダーと同期する

Outlook® メールアドレスを HTC アカウントとして使用している場合、Outlook カレンダーを VIVERSE for Business ユーザーコンソールに接続できます。これにより、Outlook イベントがユーザーコンソールのカレンダーと同期されます。

1. ウェブブラウザで、**VIVERSE for Business ユーザーコンソール**にアクセスし、HTC アカウントでサインインします。
2. ページの上部で**カレンダー**をクリックします。
3. カレンダーの下で **Outlook カレンダーを接続**をクリックします。

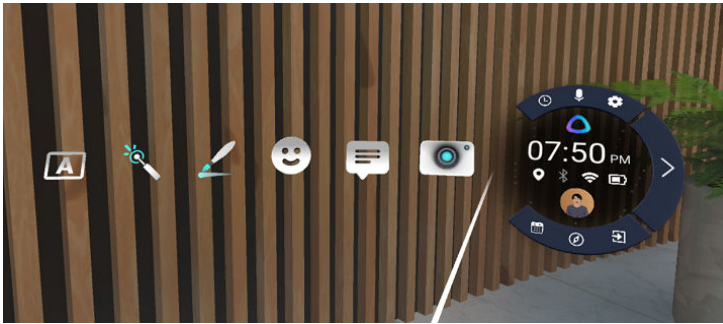


Outlook カレンダーを VIVERSE for Business ユーザーコンソールから接続解除するには、**Outlook カレンダーの接続解除**をクリックします。

使用できるツール

ツールを選択する

VIVERSE for Business 仮想環境で、VIVERSE メニューを開き、メニューの左側にビームを向けて、以下のツールから選択します：



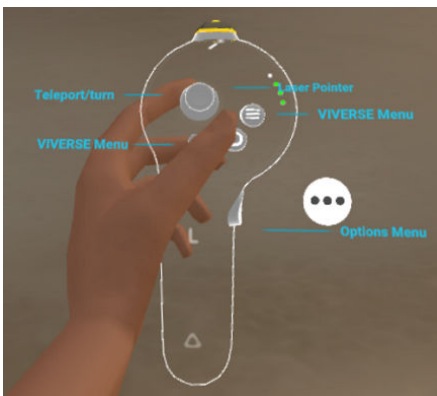
- ライブキャプション (P.46)
- レーザーポインター (P.47)
- ペン (P.48)
- 絵文字 (P.48)
- 付箋 (P.48)
- カメラ (P.50)

仮想コントローラーの先端が、選択したツールに変わります（来美キャプションとカメラを除く）。

オプションメニューを使用する

各ツールには、さまざまなオプションを備えたオプションメニューがあります。

VR コントローラでオプションメニューを開くには、以下のいずれかの操作を行います。

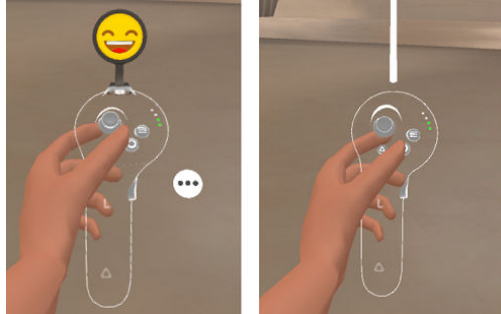


- コントローラーのグリップボタンを押します。
- VIVERSE メニューで、選択したツールの下にあるオプションアイコン(☰)を指しながらトリガーを押します。。
- 左のコントローラーを使って右のコントローラーのオプションアイコン(☰)を指すか、その逆でトリガーを押してください。

ツールのオン/オフを切り替える

ここでは、選択したツールのオン/オフを切り替える 2 つの方法をご紹介します。

- VIVERSE メニューボタンを 2 回押すと、選択したツールとコントローラーのビームを素早く切り替えることができます。



- VIVERSE メニュー ボタンを押すと、VIVERSE メニューが表示されます、再度、メニューからツールを選択します。

ライブキャプション

ライブキャプション機能を使用して、ライブの会話をテキストに変換し、選択した言語で表示します。




- この機能はデフォルトでは利用できません。VIVERSE for Business プランに含めて有効にする必要があります。
- ライブキャプションはオープンスペースでは表示できません。

以下、ライブキャプションの使い方をご紹介します。

1. 永続的または動的なスペースに入るか、作成したセッションまたは招待されたセッションに参加します。

詳しくは、以下の項目をご覧ください。



- [持続的でダイナミックな空間に入る \(P.36\)](#)
- [VIVERSE for Business アプリでセッションを作成する \(P.40\)](#)
- [セッションに参加する \(P.42\)](#)

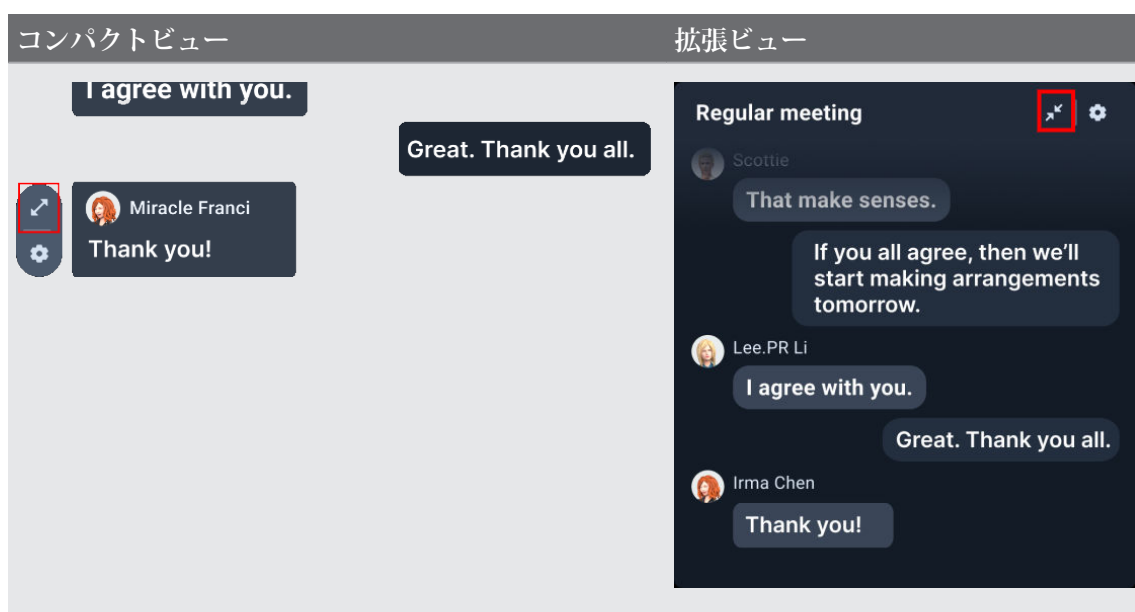
2. VIVERSE メニューを開き、設定  を選択します。
3. 言語で、キャプションの下にある次のオプションを設定します。

オプション	説明
会話で使用する言語	話したい言語を選択します。 注：自動検出を選択すると、アプリが言語を認識して翻訳を表示するまでに数秒かかる場合があります。

オプション	説明
視界	コンパクトを選択するとフローティングキャプションカードが表示され、拡張を選択するとスクロール可能なキャプションパネルが表示されます。
フォントサイズ	キャプションのフォントサイズを設定します。
キャプション言語	会話を翻訳して表示するための優先言語を選択します。
キャプション位置	編集を選択し、キャプションを表示する位置を設定するための指示に従います。

4. VIVERSE メニューを再度開き、ライブキャプションを選択してオンにします。

会話を視聴中に、 または  を選択して、コンパクトビューと拡張ビューを切り替えます。



レーザーポインター

レーザーポインターは、プレゼンテーションやディスカッションなどで、細部を指し示すのに使用することができます。

1. VIVERSE メニューを開き、レーザーポインターを選択します。
2. オプションメニューを開いて、レーザーの色を変更します。
メニューの開き方については、[ツールを選択する \(P.45\)](#) をご覧ください。
3. トリガーを押し続けると、レーザーの電源が入り、ポインティングが開始されます。
4. トリガーをリリースし、レーザーをオフにします。



ディスカッションやブレインストーミングに参加しながら、ペンを使ってアイデアを描いたり書き出したりします。ツールを消しゴムに切り替えるには、オプションメニューから行います。

1. VIVERSE メニューを開き、ペンを選択します。
2. オプションメニューを開いて、ペンの色を変更します。メニューの開き方については、[ツールを選択する \(P.45\)](#) をご覧ください。
プリセットカラーの1つを選択するか、カラーホイールでより多くの色から選択します。
3. トリガーを長押しして描画します。離すと描画が停止となります。
4. オプションメニューで、何かを消す必要があるときに消しゴムボタンを選択します。
描画からストロークを消去するには、そのストロークを消しゴムでタッチし、トリガーを押します。
複数のストロークを消去するには、トリガー () を長押しし、消去したい各ストロークにタッチします。

絵文字

絵文字は自分を表現し、他の人の注意を引く楽しい方法です。バーチャルコントローラーを使って、絵文字をリリースする方法をご紹介します：

1. VIVERSE メニューを開き、絵文字を選択します。
2. オプションメニューを開いて、絵文字を選択します。メニューの開き方については、[ツールを選択する \(P.45\)](#) をご覧ください。
3. トリガーを押して、絵文字をバーチャルスペースにリリースします。
4. トリガーを長押しすると、絵文字がリリースされます。



拍手のように音が出る絵文字もあります。

付箋

付箋を使えば、音声読み上げ機能を使って音声メモを録音し、即座にテキストに変換することができます。

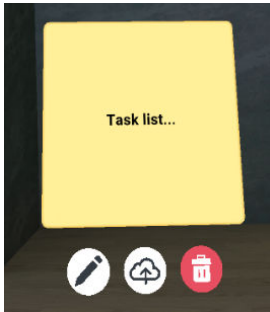



付箋の記録は非公開です。録音中、仮想空間内の他の人にはあなたの声は聞こえません。


1. VIVERSE メニューを開き、付箋を選択します。
2. オプションメニューを開いて、録音言語を選択します。メニューの開き方については、[ツールを選択する \(P.45\)](#) をご覧ください。

3. 録音を開始するにはトリガーを長押ししてから、話し始めます。
4. トリガーをリリースして、録音を停止します。

録音後、仮想空間に付箋が表示されます。



付箋を編集するには、を選択し、キーボードを使用してテキストを変更します。

を選択すると、付箋をクラウドに保存することができます。付箋は、テキストファイルとして保存されます。

付箋の移動や回転は、コンテンツウィンドウと同じ方法で実行することができます。その方法については、[コンテンツウィンドウの操作 \(P.54\)](#) をご覧ください。また、コントローラで直接付箋を掴むこともできます。



- 保存後に仮想空間から付箋を削除しても、仮想空間で再び開くことができます。ファイルブラウザを開き、[メモカテゴリ](#)に移動し、開きたい付箋を選択します。ファイルブラウザの詳細については、[画像、文書、その他のファイルを開く \(P.52\)](#) をご覧ください。
- 付箋をコンピュータにダウンロードすることができます。詳しくは、[バーチャルスペースで作成したスクリーンショットやその他のファイルをダウンロードする \(P.24\)](#) をご覧ください。

カメラ

VIVERSE メニューのカメラで、VIVERSE for Business の仮想環境の写真を撮影することができます。また、自撮りにも対応しています。

撮影方法は以下の通りです：

1. VIVERSE メニューを開き、次にカメラを選択します。

カメラウィンドウが表示されます。





2. 写真を撮る前に、以下のいずれかを行うことができます：

タスク	ステップ
画像解像度を変更 します	解像度ボタン FHD を選択し、使用したい解像度を選択します。
カメラウィンドウ の移動	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビームをコントロールバーに向けて、トリガーまたはグリップボタンを長押ししてカメラウィンドウを掴みます。 2. 以下のいずれかを実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ カメラウィンドウを上、下、左、右にドラッグして移動します。 ▪ サムスティックを前後に傾けてウィンドウを押したり引いたりします。
ズームイン/ズーム アウト	<ul style="list-style-type: none"> ▪ スライダーを上下にドラッグしてズームインまたはズームアウトします。 ▪ スライダーの下の を選択してデフォルトのズームレベルに戻します。
タイマーを設定し	を選択し、次に時間遅延を選択します。
メインカメラとセ ルフィーカメラの 切り替え	を選択します。
ネームプレート を表示する	友達の写真を撮影したり、自撮りをしたりするときにネームプレートを含めるために、ネームプレートのトグル をオンにします。

3. 撮影する準備ができれば、シャッターボタン を選択します。

撮影した写真を見る方法：

1. 右下のサムネイルを選択すると、最後に撮影した写真が表示されます。
2. 左右の矢印ボタンを使用して、他の撮影した写真を表示します。
現在の写真を削除するには、**削除ボタン**を選択します。.
3. ビューファインダー画面に戻るには、**戻るボタン**を選択します。.



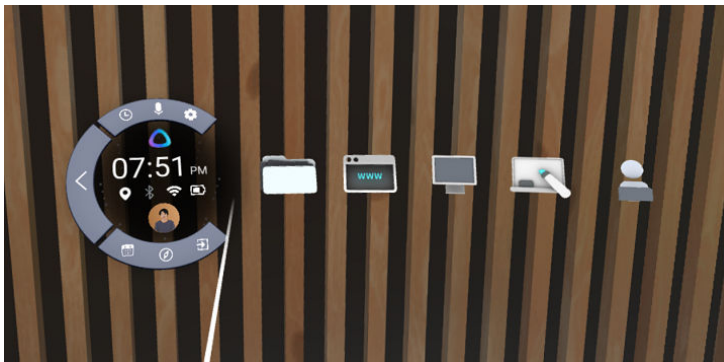
画像は自動的にクラウドに保存されます。コンピュータにダウンロードすることができます。詳細については、[バーチャルスペースで作成したスクリーンショットやその他のファイルをダウンロードする \(P.24\)](#) をご覧ください。

コンテンツを表示・共有する

コンテンツウィンドウの種類

1つまたは複数のコンテンツウィンドウを開き、ファイルの表示、ウェブサイトの閲覧、ホワイトボード図面の作成などに使用することができます。

VIVERSE メニューを開き、メニューの右側にビームを向け、開きたいコンテンツウィンドウを選択します。以下のタイプのコンテンツウィンドウを開くことができます：



- ファイルブラウザ。画像、文書、その他のファイルを開く（P.52）および 3D モデルを開く（P.69）をご覧ください。
- ウェブブラウザ。ウェブコンテンツへアクセスする（P.53）をご参照ください。
- デスクトップ。PC にアクセスする（P.73）をご覧ください。
- ホワイトボード。ホワイトボードに文字を書く・絵を描く（P.53）をご覧ください。
- スペースの管理。スペースのアクセス許可を管理する（P.37）をご覧ください。

画像、文書、その他のファイルを開く

ファイルブラウザで、画像、PDF、その他のファイルを開きます。

1. VIVERSE メニューを開き、ファイルを選択します。
2. ウィンドウの左側で、カテゴリーを選択します。

3. ファイルリストを上下にスクロールするには、リストをポイントしてから、VR コントローラーで以下のいずれかの操作を行います。
 - サムスティックまたはジョイスティックを前方または後方に傾けます。
 - トラックパッドを上または下に押します。



スクロールバーをポイントし、トリガーを押しながら、スクロールバーを上下にドラッグすることもできます。

4. ファイルを選択して、開くボタンを選択します。

別のファイルを開くには、別のファイルブラウザウィンドウを開きます。複数のコンテンツウィンドウを同時に開くことができます。

ウェブコンテンツへアクセスする

ウェブブラウザを使えば、ウェブサイトへアクセスしたり、ウェブページをブックマークしたり、ビデオをストリーミング再生したりすることができます。

1. VIVERSE メニューを開き、ブラウザを選択します。
2. 以下の作業が可能です。
 - 閲覧したいウェブサイトやウェブサービスにリンクしているブックマークを選択します。
 - 検索バーに、訪問したいウェブサイトの URL を入力します。


別のウェブブラウザを開いて、別のウェブサイトやウェブサービスへアクセスします。複数のウィンドウを同時に開くことができます。



YouTube®または Vimeo™からストリーミングしている時のみ、仮想空間にいる他の人たちは、あなたの共有ブラウザからの音声を聞くことができます。他のストリーミングサービスのビデオを共有した場合、相手にはビデオが見えますが、音声は聞こえません。

ホワイトボードに文字を書く・絵を描く

ホワイトボードを使ってメモを取ったり、自分の考えをより明確に表現するために絵を描いたりすることができます。ペンの色の変更や消しゴムへの切り替えを、オプションメニューから行うことができます。

1. VIVERSE メニューを開き、ホワイトボードを選択します。
2. ホワイトボードメニューで、空のサムネイルをポイントして、ホワイトボードの作成を選択します。
3. ペン  を選択し、編集モードに進みます。

4. オプションメニューを開き、ペンの色を選択します。

以下のいずれかの方法で、オプションメニューを開きます。

- VR コントローラーのグリップボタンを押します。
- VIVERSE メニューの左側を開き、ペンツールの下にあるオプションボタン(⋮)を選択します。

あらかじめ用意された色の中から、またはカラーホイールで他の色を選択することができます。

5. ホワイトボードに書き込みや描画をするには、ホワイトボードをポイントし、トリガーを押しながら書き込みや描画を行います。書き込みまたは描画を停止するには、トリガーをリリースします。
6. ペンのストロークを消去するには、オプションメニューを開き、削除(✖)ボタンを選択します。次に、消したいペンのストロークをポイントし、トリガーを押します。



すべてを消去して最初からやり直すには、キャンバスのクリア(☒)ボタンを選択します。

7. 作業が終わったら、キャンバスウィンドウを閉じて作業内容を保存します。



- 保存した図面を開くには、ホワイトボードを再度開きます。開きたい図面をポイントして、開くを選択します。

- 編集モードで、クラウドに保存(☁)ボタンを選択すると、図がクラウドに保存されます。

ホワイトボード描画は、PNG ファイルとして保存されます。ファイルブラウザのカメラのスクリーンショットと同じカテゴリーで確認することができます。

コンテンツウィンドウの操作

ファイルやウェブサイト、その他のコンテンツを表示中は、コンテンツウィンドウの右下にあるコントロールを使って、ウィンドウサイズを変更したり、画面を共有することができます。

コンテンツウィンドウを共有する





コンテンツウィンドウを他の人に見てもらうには、以下の方法があります：

ウィンドウを公開する：


デフォルトでは、コンテンツウィンドウはプライベートモードになっており、スペース内の訪問者には表示されません。🔒を選択してパブリックモードに変更します。



コンテンツウィンドウがパブリックモードの場合、次の操作ができます。

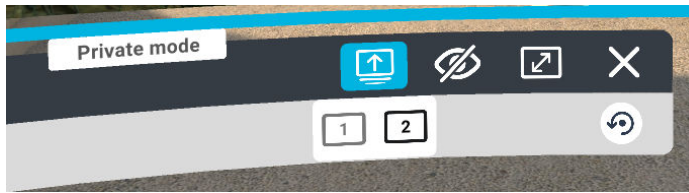
- を選択して、ウィンドウを固定し、誤って動かしたり操作したりする事態を防ぎます。
- を選択して、ウィンドウのロックを解除します。
- を選択して、開いた画像でスペースを装飾します。詳細については、[画像で空間を装飾する](#) (P.56) をご覧ください。
- を選択して、コンテンツウィンドウをプライベートモードに変更します。

大画面への共有 :


大画面で共有 を選択し、コンテンツの投影に使用するスクリーンを選択します。



この機能は一部の仮想空間では利用できない場合があります。



ウィンドウサイズを変更する

リサイズ を選択し、ウィンドウのサイズを選びます。

ウィンドウの表示、移動、調整

VR コントローラーまたは手で、コンテンツページの閲覧、コンテンツウィンドウの移動などを行います。


内容	方法
スクロール	以下のいずれかを実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ サムスティックまたはジョイスティックを前方または後方に傾けます。 ▪ トラックパッドを上または下に押します。 ▪ ピンチしてコンテンツウィンドウまたは閲覧中のページのスクロールバーを掴み、上下に移動します。
ズーム	グリップボタンを押しながら、以下のいずれかの操作を行います： <ul style="list-style-type: none"> ▪ サムスティックまたはジョイスティックを前方または後方に傾けます。 ▪ トラックパッドを上または下に押します。
ウィンドウを左右に動かす	<ol style="list-style-type: none"> 1. コントローラーのトリガーを押すか、親指と人差し指を一緒にピンチすることで、ウィンドウ下部にあるコントロールバーを掴みます。 2. ウィンドウを左右にドラッグします。 3. 再度トリガーを押すかピンチすると、ウィンドウがリリースされます。


内容	方法
ウインドウを左右に回転させる	<p>コントローラーを使って：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ウィンドウの下部にあるコントロールバーを掴むためには、トリガーを短押しします。 2. 以下のいずれかを実行してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ サムスティックまたはジョイスティックを左右に傾けます。 ▪ トラックパッドの左または右を押す。 <p>手を使って：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ウィンドウの左右の青いバーにビームにビームを向け、ピンチしてバーを掴みます。 2. 手を動かしてウィンドウを回転させます。 3. 再度ピンチして回転を止めます。
<ul style="list-style-type: none"> ▪ ウィンドウを前後に押す/引く ▪ ウィンドウを上下に傾ける 	<p>グリップボタンを使って、ウィンドウを前後に押す/引くまたはウィンドウを上下に傾ける、を切り替えます。その方法は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ウィンドウの下部にあるコントロールバーを掴むためには、トリガーを短押しします。 2. 窓を押したり引いたりするには、以下のいずれかを行います： <ul style="list-style-type: none"> ▪ サムスティックまたはジョイスティックを前方または後方に傾けます。 ▪ トラックパッドを上または下に押します。 3. グリップボタンを短押しします。 4. ウィンドウを上下に傾けるには、以下のいずれかの操作を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ サムスティックまたはジョイスティックを前方または後方に傾けます。 ▪ トラックパッドを上または下に押します。 5. 完了したら、トリガーを押します。

画像で空間を装飾する

VIVERSE for Business プランには装飾できる空間が含まれている場合、壁や床を装飾するために画像を使用することができます。

画像で壁を装飾する例を以下に示します：

1. VIVERSE メニューを開き、次にファイルを選択します。
2. ウィンドウの左側で、**画像**(または **スクリーンショット**)を選択します。
3. 画像を選択し、次に**開く**を選択します。画像はプライベートモードのコンテンツウィンドウで開きます。
4. 右下のを選択して、コンテンツウィンドウをパブリックモードに切り替えます。

5. 装飾  を選択します。これにより、画像からコンテンツウィンドウフレームが削除されます。



建物のオーナーやスペースのオーナーは、任意のコンテンツウィンドウから画像を使用してスペースを装飾することができます。建物のオーナーまたはスペースのオーナーでない場合、開いたコンテンツウィンドウからの画像のみを使用できます。

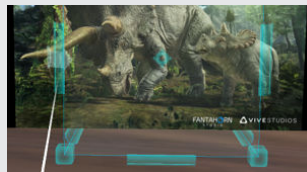
6. 画像にビームを向けます。コントロール付きの gizmo が表示されます。以下のいずれかの操作を行って画像を調整することができます。

アクション ステップ

画像を移動 親指と人差し指をピンチするか、トリガーを押して gizmo を掴み、画像をドラッグします。

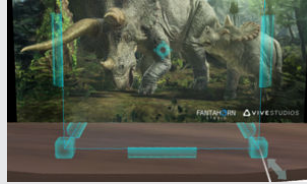


画像を回転 親指と人差し指をピンチするか、トリガーを長押しして gizmo の端を掴み、ドラッグして画像を回転または傾けます。



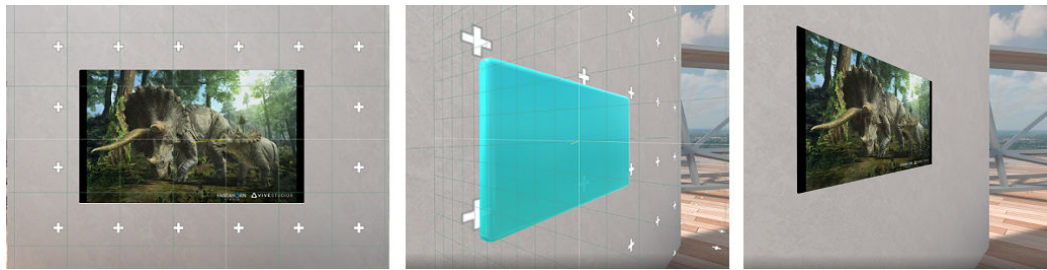
アクション ステップ

画像のサイズを変更する 親指と人差し指をピンチするか、トリガーを長押ししてギズモの角を掴み、ドラッグして画像のサイズを変更します。






7. 画像を掴んで壁に近づけてドラッグします。

画像を移動している間、位置決めを容易にするためにグリッドが表示されます。長方形のボックスが表示されたら、画像を壁に取り付けるためにリリースします。




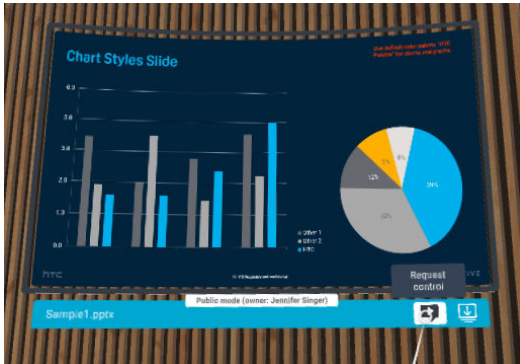
また、画像に対して、以下のいずれかの操作を行うこともできます。

- **ロック**: 右上の  を選択して画像をロックします。画像をロックすると、他の人が画像に対して調整を行うことができなくなります。
- **削除**: 右上の  を選択して現在のスペースから画像を削除します。
- **ウィンドウを復元する**: 右上の  を選択して画像の周りのコンテンツウィンドウフレームを復元します。


コンテンツウィンドウまたは大画面のコントロールをリクエストする

誰かが自分のコンテンツウィンドウを公開したり、大型スクリーンに共有する場合、その人のコンテンツを見るだけができます。コンテンツウィンドウまたは大型スクリーンオーナーにコントロールをリクエストすることができます。その方法は以下の通りです。

コンテンツウィンドウ右下のコントロールのリクエスト  または大型スクリーンを選択します。

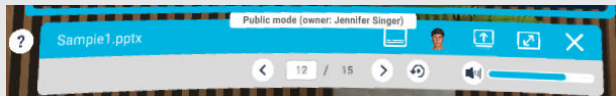


オーナーが許可すると、コンテンツウィンドウまたは大型スクリーンと対話できるボタンコントロールが表示されます。

コンテンツウィンドウまたは大型スクリーンをコントロールする必要がなくなったら、コントロールの停止  を選択します。





オーナーは、コントロールバーのプロフィール写真を選択することで、コントロールを解除することもできます。




プレゼンテーションビューを使用する

プレゼンテーションビューで、ドキュメントを別ウィンドウで表示することができます。これにより、大型スクリーンから直接読み込んだり、視聴者から顔を背けたりすることなく、プレゼンテーションを表示し、コントロールすることができます。PowerPoint と PDF ファイルでプレゼンテーションビューを使用することができます。

ここでは、プレゼンテーションビューでドキュメントを表示する方法をご紹介します。

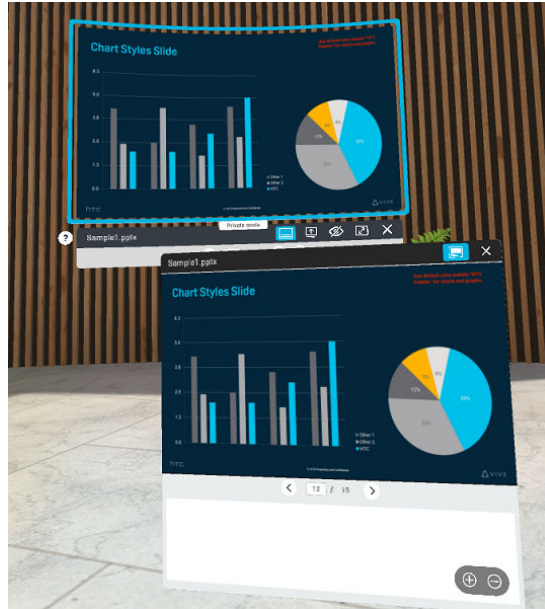
1. PowerPoint、または PDF ファイルをファイルブラウザで開きます。開く方法は、[画像、文書、その他のファイルを開く](#) (P.52) をご覧ください。
2. コンテンツウィンドウを公開するには  を選択し、大型スクリーンにドキュメントを表示するには  を選択します。



3. コンテンツウィンドウのコントロールバーまたは大型スクリーンで、プレゼンテーションビュー  を選択します。

目の前でウィンドウが開き、ドキュメントが表示されます。

4. ページの切り替えは、ウィンドウの下部にあるコントロールで行います。


コンテンツウィンドウまたは大型スクリーンのドキュメントも同時にページが変わります。

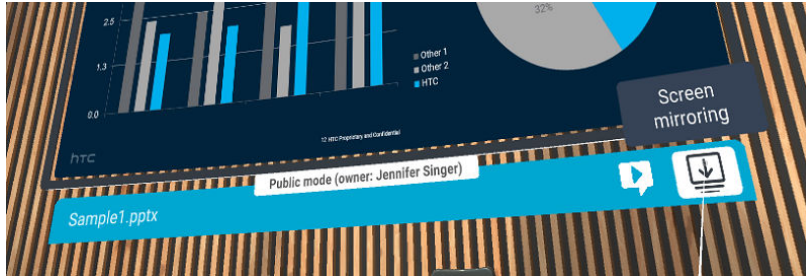


PowerPoint ファイルを閲覧している場合、スライドの下にノートペインも表示されます。最小化  を選択するとノートペインが非表示になり、最大化  を選択するとプレゼンテーションビューでノートペインが表示されます。

オーナーのコンテンツウィンドウまたは大型スクリーンをミラーリングする

オーナーのコンテンツウィンドウまたは大型スクリーンをミラーリングして、そのコンテンツをクローズアップ表示することができます。その方法は以下の通りです。

オーナーのコンテンツウィンドウのコントロールバーまたは大型スクリーンで、画面のミラーリングを選択します。



目の前にミラーリングされた画面が表示されます。



360°動画の表示と共有

360°ビデオを開いて同じ空間にいるユーザーを招待し、ビデオと一緒に視聴することができます。その方法は以下の通りです。

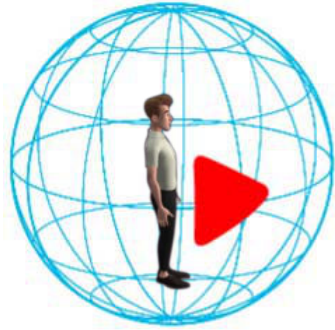


VIVERSE for Business には複数の 360°ビデオをアップロードすることができますが、一度に開くことができるビデオは 1 つだけです。360°ビデオのアップロード方法については、[360°動画のアップロード](#) (P.23) をご覧ください。

1. VIVERSE メニューを開き、次にファイルを選択します。
2. ファイルブラウザの左側で、ビデオを選択します。

3. 360°動画を選択してから、表示方法を選択します。

- **360°ビューを開く**：ビデオの全 360°の視界を表示します。いつの間にか、動画に没頭していることでしょう。



- **2D ビューを開く**：コンテンツウィンドウでビデオを表示します。



コンテンツウィンドウから **360°** を選択することで、360°ビューに切り替えることができます。

4. 360°ビューでビデオを開いた後、トリガーを押してビデオコントロールパネルを表示します。



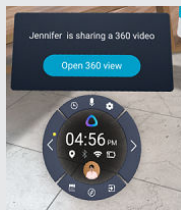
以下のいずれかを実行できます：

タスク	ステップ
動画再生をコントロールします	再生コントロールで、再生または一時停止、前進または後退を実行したり、音量を調整することができます。
ビデオモードを選択する	<p>👁️ を選択し、ビデオを 360° またはステレオスコーピック 3D モードで表示するかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 🌐 : 360 度 ▪ 🔄 : 左から右 ▪ 📺 : トップダウン

タスク	ステップ
360°動画共有セッションを開始する	<p>🔗を選択してビデオを公開し、360°ビデオ共有セッションを開始します。</p> <p>同じ空間にいるユーザーはメッセージを受け取り、ビデオを視聴するために参加するよう招待されます。許可または拒否を選択することができます。</p>
360°ビューを終了	2D ビューに切り替えるには、↔️を選択します。



- 招待された人が動画共有セッションに参加した場合、360°動画を見ることはできますが、動画再生をコントロールすることはできません。
- 招待を辞退した後にビデオ共有セッションに参加したい場合は、VIVERSE メニューを開き、メニューの上に表示されるダイアログボックスで **360°ビューを開く** を選択します。



360°画像の表示と共有

360°画像を開いて共有セッションを開始すると、同じ空間にいるユーザーがそれを表示できるようになります。その方法は以下の通りです。



- VIVERSE for Business には複数の 360°画像をアップロードすることができますが、一度に開くことができるビデオは 1 つだけです。画像のアップロード方法については、[VIVERSE for Business](#) へ[ファイルをアップロードする](#) (P.21) をご覧ください。
- 最高の視聴体験を得るために、少なくとも 2048 x 1024 の解像度を持つ 360°画像を使用してください。画像の最大幅は 16384 ピクセルを超えないようにしてください。

1. VIVERSE メニューを開き、次にファイルを選択します。
2. ファイルブラウザの左側で、**画像**を選択します。

3. 360°画像を選択してから、表示方法を選択します。
 - **360°ビューを開く**：画像の全 360°の視界を表示します。
 - **2D ビューを開く**：コンテンツウィンドウで画像を表示します。





コンテンツウィンドウから**360**を選択することで、360°ビューに切り替えることができます。

4. 360 ビューで画像を開いた後、トリガーを押してコントロールパネルを表示します。

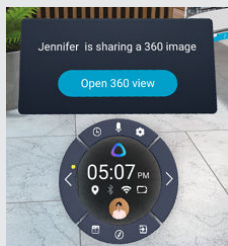


以下のいずれかを実行できます：

- 画像を公開して 360°画像共有セッションを開始するには、を選択します。
同じ空間にいるユーザーはメッセージを受け取り、画像を表示するために参加するよう招待されます。許可または拒否を選択することができます。
- 2D ビューに切り替えるには、を選択します。



招待を辞退した後に画像共有セッションに参加したい場合は、VIVERSE メニューを開き、メニューの上に表示されるダイアログボックスで**360°ビューを開く**を選択するだけです。



3D モデルでの操作

3D モデルの準備

これらのガイドラインに従って、Polygon Streaming を使用しない 3D モデルを準備してください。

対応ファイル形式

Unity Asset Bundle

VIVERSE for Business は、アニメーションを含む Unity 標準およびカスタムシェーダーに対応しています。

VIVE XR Elite、VIVE Focus 3、PC VR ヘッドセットのユーザー、および Android と iOS のモバイルデバイスのユーザーがあなたの 3D モデルを表示するために、すべてのターゲットプラットフォーム（*_windows.ab'、*_android.ab'、および*_ios.ab'）の AssetBundle ファイルを準備してください。

3D および画像フォーマット

3D モデルには、以下のサポートされている 3D 形式のいずれかを使用します：

- FBX (圧縮)
- GLB
- glTF (圧縮)
- OBJ (圧縮)



ベースカラーマップにのみ対応しています。

3D モデル用に別のテクスチャファイルを作成する場合、テクスチャには以下のサポートされている画像フォーマットのいずれかを使用します：

- PNG
- JPG (ベースライン&プログレッシブ - 12 bpc/算術演算不可)
- BMP (non-1bpp, non-RLE)
- TGA

3D モデルに個別のテクスチャファイルがある場合、3D モデルとテクスチャを ZIP ファイルにパッケージしてからアップロードする必要があります。3D モデルが個別のテクスチャファイルを持っていない場合、ZIP ファイルにパッケージする必要はありません。3D モデルを直接アップロードすることができます。

FBXモデルを使用する場合、ZIPパッケージには1つの.fbxファイルとすべてのテクスチャ画像(JPGまたはPNG形式)が含まれている必要があります。それらが適切に設定され、接続済みであることを確認してください。埋め込みテクスチャを持つ単一の.fbxファイルもアップロードできます。



ファイル内のテクスチャが適切に接続済みでない場合、変換後に真っ白に表示されます。バイナリFBXファイルのみがサポートされています。ASCIIベースのFBXファイルはサポートされていません。

推奨・制限事項

3Dモデルを確実に読み込み、他の人に見てもらうために、以下の推奨3Dモデル仕様に従ってください。

	PC VR	スタンドアロン型 VR およびモバイル
ポリゴン	15,000 またはそれ以下推奨	5,000 またはそれ以下推奨、最大 200,000
ファイルサイズ	150 MB またはそれ以下推奨	60 MB またはそれ以下推奨、最大 300 MB
テクスチャ解像度	4096×4096 またはそれ以下推奨	1024×1024 またはそれ以下推奨、最大 2048×2048

Polygon Streamin とは？

Polygon Streamin は、クラウドから任意のデバイスに数百万のポリゴンを含む高精細な3Dモデルをストリーミングすることを可能にするコア技術およびプラットフォームです。



この機能はデフォルトでは利用できません。VIVERSE for Business プランに含めて有効にする必要があります。

3Dモデルに Polygon Streamin を使用する利点は次のとおりです：

- **効率的なデータ伝送**：オクルージョンカリングと適応的な詳細レベル (LOD) を利用することで、必要なポリゴンデータのみがストリーミングされ、帯域幅の要件が削減され、複雑なモデルでもスムーズなパフォーマンスが維持されます。

視線に入っている3Dモデルの部分が最も鮮明になります。3Dモデルの他の部分の解像度は、近さに基づいて最適化されます。

- **クロスプラットフォーム互換性**：ウェブブラウザ、モバイルデバイス、PC、VRヘッドセット全てで問題なく動作し、互換性の問題を解消し、全員が3Dコンテンツにアクセスできるようにします。
- **コスト効果**：高価で複雑なクラウドGPUインフラストラクチャの必要性を排除し、高価なハードウェアへの依存を減らし、運用コストを削減します。
- **ウェブベースのインターフェース**：VIVERSE for Business ユーザーコンソールを介して3Dアセットを簡単にアップロードおよび管理できます。

対応ファイル形式

サポートされている 3D 形式

Polygon Streaming は次の 3D フォーマットをサポートしています：

- GLB
- glTF (圧縮)
- OBJ (圧縮)

サポートされている画像形式

3D モデル用に別のテクスチャファイルを作成する場合、テクスチャに次のいずれかの画像形式を使用します。

- PNG
- JPG
- BMP
- KTX

Polygon Streaming の推奨事項と要件

3D モデルを変換するために単一の.glb ファイルを使用することを強くお勧めします。これにより、ファイルが必要なすべてのデータを含み、変換中に使用される正しい標準に従うことが保証されます。3D モデルは、金属-粗さ標準に準拠した PBR 素材を使用した三角形メッシュでなければなりません。

- glTF モデルを使用したい場合は、必要なすべてのファイルを単一の ZIP パッケージに圧縮する必要があります。それには、少なくとも 1 つの.glTF ファイル、1 つの.bin ファイル、および JPG または PNG 形式のすべてのテクスチャ画像が含まれている必要があります。
- OBJ モデルを使用したい場合は、必要なすべてのファイルを単一の ZIP パッケージに圧縮する必要があります。それには、1 つの.obj ファイル、1 つの.mtl ファイル、および JPG または PNG 形式のすべてのテクスチャ画像が含まれている必要があります。それらが適切に設定され、接続済みであることを確認してください。テクスチャや.mtl ファイルが不要な場合は、単一の.obj ファイルをアップロードすることもできます。



ファイル内のテクスチャが適切に接続されていない場合、変換後に真っ白に表示されます。単一の.obj ファイルは、素材やテクスチャ情報を含まないため、常に真っ白に見えます。

素材とテクスチャの PBR 標準

物理ベースレンダリング (PBR) は、Unity、Unreal、3D Studio Max、および 3D Web プラットフォームなど、多くの 3D アプリケーションで標準となっています。Polygon Streaming も、よりパフォーマンスが高くリアルな素材とテクスチャの表現のためにこの標準を使用しています。

このアプローチは、光が表面と相互作用する方法の近似を使用する代わりに、物理的に正しいモデルを使用する点で、従来のアプローチとは異なります。特定の照明の下で見栄えが良くなるように素材を調整する代わりに、すべての照明シナリオで正しく反応する素材を作成できるという考え方です。

Lambert、Blinn-Phong、Specular-Roughness などのレガシー標準を使用してモデルが作成されている場合、変換前に PBR 標準に変換して、元のモデルの素材とテクスチャを正しく表現する必要があります。

レガシーまたはカスタム標準を使用するモデルは変換できます。ただし、素材とテクスチャの正しい表現を保証することはできません。カスタム標準やカスタムシェーダー要素を使用すると、システムがカスタム要素を適切に翻訳できないため、変換に失敗する可能性があります。

詳細情報

Polygon Streaming のための 3D モデルの準備に関する完全な詳細については、以下を参照してください：

- [アセットの準備とベストプラクティス](#)
- [Polygon Streaming ヘルプセンター](#)

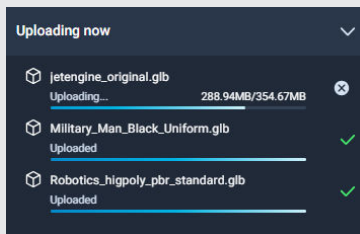
3D モデルを VIVERSE for Business にアップロードする

仮想空間で 3D モデルを表示するには、まず VIVERSE for Business クラウドストレージスペースに 3D モデルをアップロードする必要があります。



1. ウェブブラウザで、[VIVERSE for Business ユーザーコンソール](#)にアクセスし、HTC アカウントでサインインします。
2. ウェブページの上部で、[ライブラリ](#)をクリックします。左側のメニューで、ファイルが自動的に選択されます。
3. アップロードしたファイルのタブで、[+ > ファイルアップロード](#)をクリックします。
4. アップロードする 3D モデルを選択し、[開く](#)をクリックします。

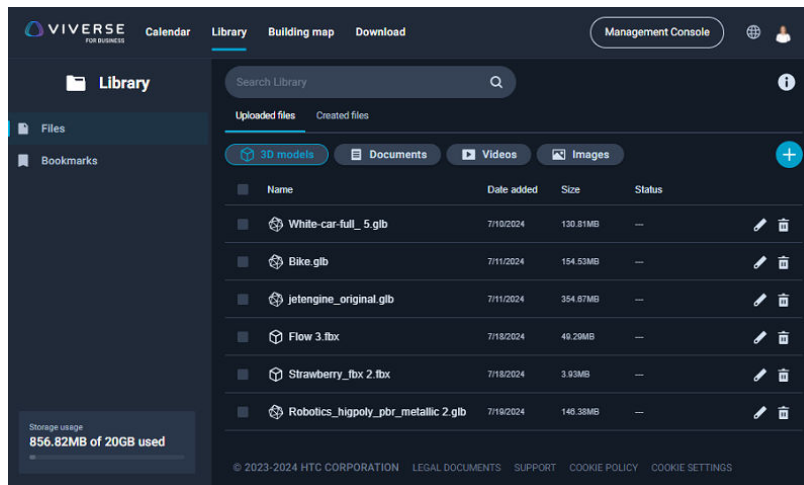


複数のファイルをアップロードすると、アップロードの進行状況が右下のパネルに表示されます。







- 保留中のファイルアップロードをキャンセルするには、そのファイル名の横にある **X** をクリックします。
- 変換中のファイルアップロードはキャンセルできません。

ファイルリストでは、Polygon Streaming 機能を持つ 3D モデルの横にポリゴンアイコン  が表示されます。Polygon Streaming が統合されていない形式や、Polygon Streaming がサポートしていない形式 (例えば FBX) でアップロードされた 3D オブジェクトには、通常の 3D オブジェクトアイコン  が表示されます。



アップロードした 3D オブジェクトを使用して、次のいずれかの操作を行うこともできます。

アクション	ステップ
ファイル名の変更	 をクリックします。
ファイルの削除	 をクリックします。
複数ファイルの削除	ファイルを選択し、リストの上にある  をクリックします。
すべてのファイルの削除	リストの上にあるチェックボックスを選択し、  をクリックします。

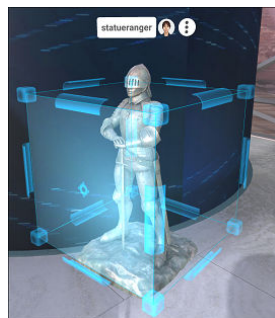
3D モデルを開く

3D モデルを開くと、仮想空間のユーザーに表示されます。ユーザーは、3D モデルをロックしない限り、3D モデルと対話することができます。

3D モデルを開いて対話する方法は次のとおりです：

1. VIVERSE メニューを開き、次にファイルを選択します。
2. ファイルブラウザウィンドウの左側で、**3D モデル**を選択し、3D モデルファイルを選んでから開くを選択します。
3. コントローラーや手で 3D モデルを動かし、トリガーを引くかピンチで配置します。

ビームを 3D モデルに向けると、ギズモが表示されます。ギズモに、3D モデルを移動、回転、スケーリングするためのコントロールが表示されます。



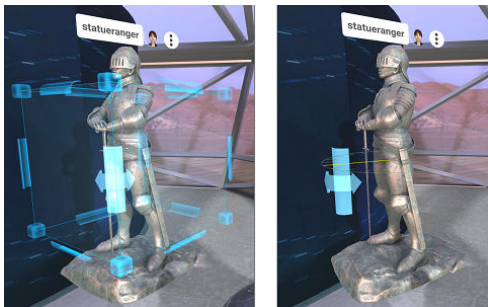
3Dモデルを移動する

1. ビームをギズモに向けて、トリガーまたはグリップボタンを長押ししてギズモを掴みます。
2. 3Dモデルを配置したい位置にドラッグします。



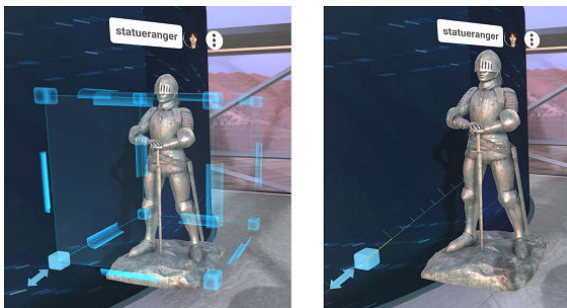
回転する

1. ビームをギズモの端に向けます。矢印が表示されます。
2. トリガーを長押しするか、ピンチして端をつかみ、ドラッグして3Dモデルを回転させます。



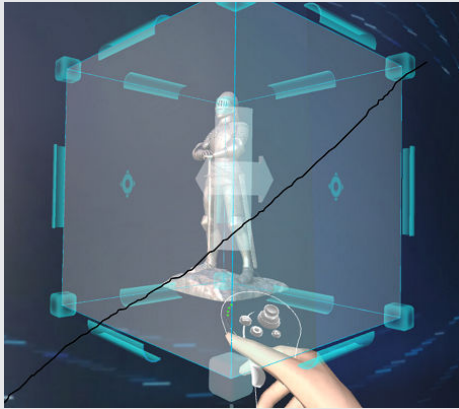
リサイズ

1. ビームをギズモの角に向けます。矢印が表示されます。
2. トリガーを長押しするか、ピンチして角をつかみ、ドラッグして3Dモデルのサイズを変更します。





また、3D オブジェクトの移動、回転、スケーリングの際には、コントローラまたは手でギズモを直接タッチすることができます。



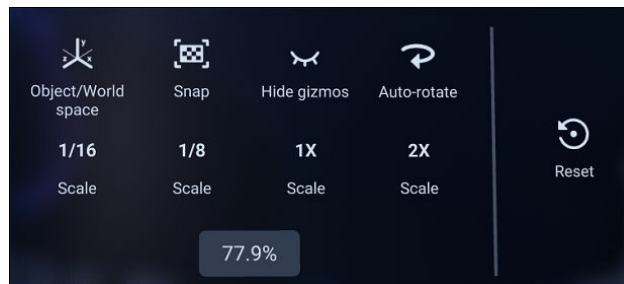
詳細を表示

3D モデルの上にあるその他のオプションボタン(⋮)を選択して、より多くのオプションが含まれたメニューを開きます。



メニューから、次のオプションを選択できます：





- **高度なコントロール**：3D モデルを調整するための追加コントロールを使用します：



ボタン 説明



オブジェクト/ワールドスペース：3D モデルまたはスペースに対するギズモの向きを変更します。

ボタン	説明
	スナップ : 3D モデルの移動、回転、スケーリング時にグリッドにスナップします。
	ギズモ : ギズモを隠す/表示する :
	自動回転 : 自動回転をオン/オフします。
1/16	1/16: 3D モデルを元のサイズの 1/16 に拡大します。
1/8	1/8: 3D モデルを元のサイズの 1/8 に拡大します。
1 X	1X: 3D モデルを元のサイズに戻します。
2 X	2X: 3D モデルを元のサイズの 2 倍 に拡大します。
	リセット : 3D モデルを元のサイズと向きに戻します。

- **ロック** : 3D モデルをロックして、誤っての移動や操作を防ぎます。
- **削除** : 現在のスペースから 3D モデルを削除します。

PCにアクセスする

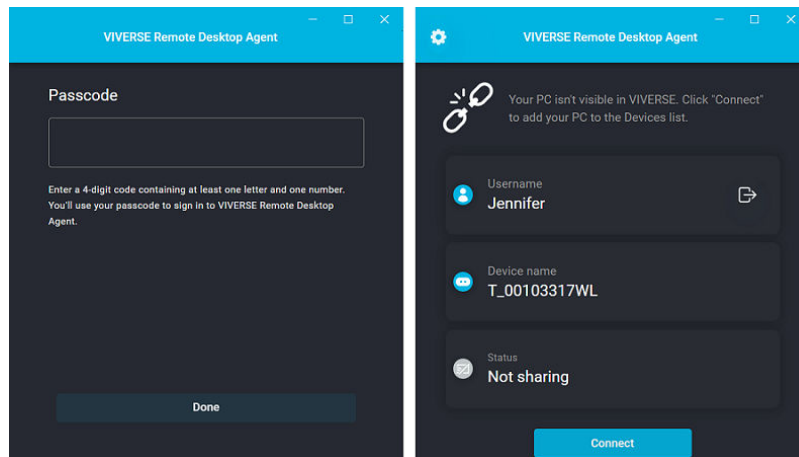
リモートデスクトップでPCにアクセスする


リモートデスクトップ機能を使用すると、VIVERSE for Business にある 1 台または複数台の PC にアクセスすることができます。

リモートデスクトップ機能を使用するには、VIVERSE for Business に接続する PC に VIVERSE リモートデスクエージェントをインストールする必要があります。インストール方法の詳細については、[VIVERSE アドオンをインストールする \(P.25\)](#) をご覧ください。

ここでは、リモートデスクトップを使って PC にアクセスする方法をご紹介します。

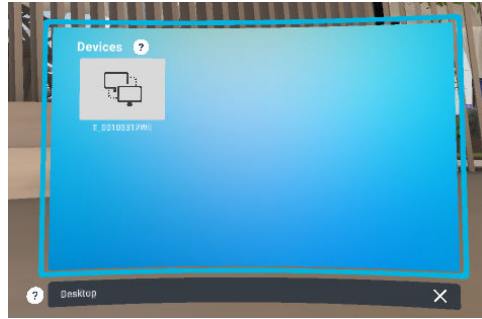
1. コンピュータで、VIVERSE リモートデスクエージェントを起動します。
2. VIVERSE for Business で使用しているのと同じ HTC アカウントでサインインします。
3. VIVERSE リモートデスクエージェントを初めて設定する場合は、利用規約をお読みください。確認後、**同意する**をクリックします。
4. 画面の指示に従って PC にデバイスパスワードを設定し、PC を VIVERSE for Business に接続します。



VIVERSE for Business でコンピュータの音声を聞くには、左上の  をクリックし、接続されたデスクトップから音声を再生をオンにします。

5. デスクトップエージェントの**接続**をクリックした後、ヘッドセットを装着します。
6. VIVERSE for Business を起動し、HTC アカウントでサインインします。
7. VIVERSE メニューを開き、デスクトップを選択します。

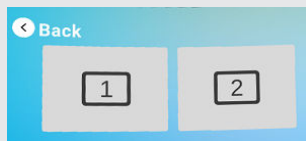
8. デバイスで、接続するコンピュータを選択します。



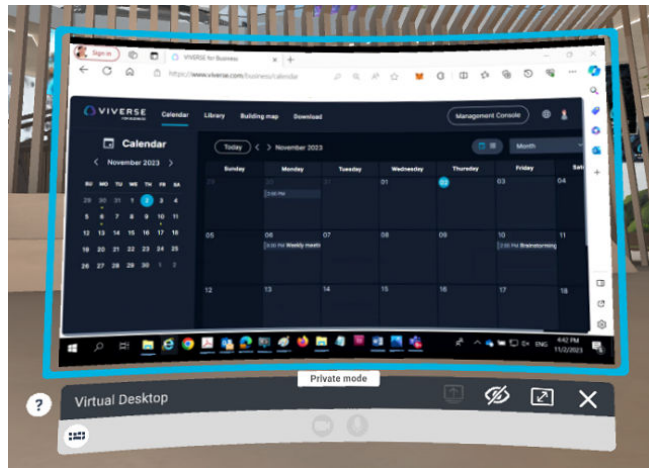
9. PCのデバイスパスコードを入力し、接続を選択します。
10. 表示したいディスプレイを選択します。



コンピュータが複数のディスプレイに接続されている場合、どのディスプレイで表示するかを選択することができます。



11. PCと同じように、デスクトップウィンドウをナビゲートします。コンピュータのウェブブラウザを開いたり、メールをチェックしたり、ファイルを開くことができます。



また、デスクトップウィンドウを移動、サイズ変更や共有を行うことができます。その方法については、[コンテンツウィンドウの操作](#) (P.54) をご覧ください。



- リモートデスクトップ機能は、VIVE XR Elite、VIVE Focus 3などの独立型ヘッドセットでのみ使用することができます。
- 現在、リモートデスクトップはヘッドセットからのマイク音声に対応していません。リモートデスクトップで電話会議をした場合、相手の声は聞こえるものの、自分の声は聞こえません。

VIVERSE for Business に PC 画面をミラーリングする

VIVE XR Elite、VIVE Focus 3 または PC VR ヘッドセットなどのヘッドセットに PC 画面をミラーリングすると、VIVERSE for Business で PC 画面を表示して操作することができます。

ここでは、PC 画面を VIVERSE for Business にミラーリングする方法をご紹介します。

1. USB または Wi-Fi® でヘッドセットを PC に接続します。



- VIVE XR Elite の場合、VIVE ストリーミングでヘッドセットを PC に接続する必要があります。
- VIVE Focus 3 の場合、VIVE Business ストリーミングでヘッドセットを PC に接続する必要があります。

詳細については、[VIVE ストリーミング](#) および [VIVE Business ストリーミングユーザーガイド](#) をご覧ください。

2. ヘッドセットで、VIVERSE for Business を起動し、HTC アカウントでサインインします。
3. VIVERSE メニューを開き、デスクトップを選択します。
4. アクセスしたい PC のデスクトップを選択します。
5. コンピュータと同じようにデスクトップナビゲートします。メールをチェックしたり、ファイルを開いたり、様々なことを実行することができます。

デスクトップウィンドウを移動する/サイズ変更する/共有する方法については、[コンテンツウィンドウの操作 \(P.54\)](#) をご覧ください。



Microsoft Teams と Zoom™ の電話会議には、デスクトップウィンドウから参加することができます。詳しくは、以下の項目をご覧ください。

- [VIVERSE for Business で使用する電話会議アプリを設定する \(P.75\)](#)
- [Microsoft Teams 通話をする \(P.76\)](#)
- [Zoom 通話をする \(P.78\)](#)

VIVERSE for Business で使用する電話会議アプリを設定する

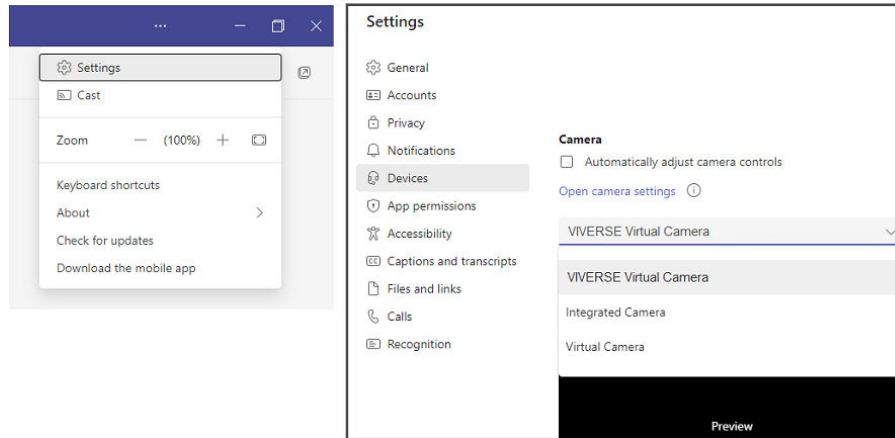
VIVERSE for Business の仮想スペースで、Microsoft Teams または Zoom™ 通話を行うことができます。

電話会議の前に、以下を実行する必要があります。

1. ヘッドセットに接続する PC に Microsoft Teams または Zoom™ がインストールされていることをご確認ください。
2. VIVERSE バーチャルウェブコムを PC にインストールします。詳細については、[VIVERSE アドオンをインストールする \(P.25\)](#) をご覧ください。
3. 使用するビデオ会議アプリで、**VIVERSE** バーチャルカメラとマイクが選択されていることをご確認ください。

▪ **Microsoft Teams :**

設定 > デバイスに進み、マイクと **VIVERSE** バーチャルカメラが選択されていることをご確認ください。



▪ **Zoom™ :**

設定 > ビデオ/オーディオに進み、マイクと **VIVERSE** バーチャルカメラが選択されていることをご確認ください。

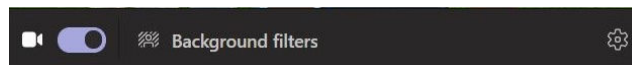
Microsoft Teams 通話をする

デスクトップウィンドウから Microsoft Teams 通話します。その方法は以下の通りです。

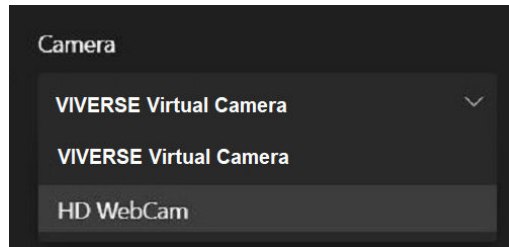
1. VIVERSE メニューを開き、デスクトップを選択します。
2. チームを起動します。
3. コンピュータで Teams を使用しているときと同じように、会議電話をかけたり、会議に参加することができます。

例えば、会議に参加するには、左側のパネルからカレンダーを開きます。会議を選択し、参加を選択します。

4. カメラウィンドウの左下から、チームのカメラスイッチをオンにします。

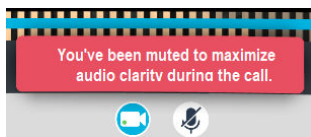


5. 設定ボタンを選択します。カメラで、**VIVERE** バーチャルカメラが選択されていることをご確認ください。



6. 今すぐ参加を選択します。
会議がデスクトップウィンドウで開きます。

デフォルトでは、バーチャルスペースのマイクはミュートになっています。



あなたの声は、チーム会議にのみに送信されます。Teams の会議室にいる人にはあなたの声が聞こえますが、バーチャルスペースにいる人の声は聞こえません。

Teams 会議室とバーチャルスペースの両方にいる人に声を聞かせたい場合は、デスクトップウィンドウの下部にあるマイクをオンにします。



Teams 会議室への音声送信をオンまたはオフにするには、Teams アプリでマイクをミュートまたはミュート解除する必要があります。

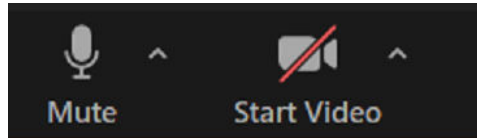
Zoom 通話をする

デスクトップウィンドウから Zoom™ 通話します。その方法は以下の通りです。

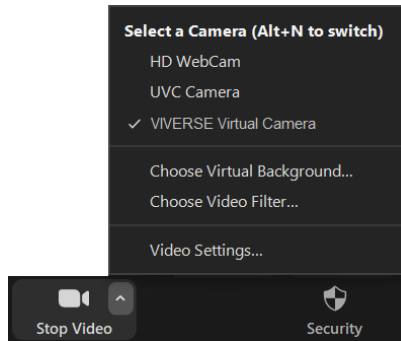
1. VIVERSE メニューを開き、デスクトップを選択します。
2. **Zoom** を起動して、コンピュータで通常 Zoom™ を使用するときと同じように、電話会議を開いたり、会議に参加します。

会議がデスクトップウィンドウで開きます。

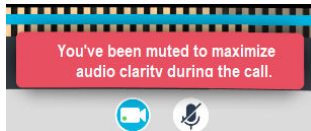
3. ビデオの開始を選択して、Zoom™ カメラの電源を入れます。



4. ビデオの停止の横にある矢印アイコンを選択してカメラ選択メニューを開き、**VIVERSE** バーチャルカメラを選択します。



デフォルトでは、バーチャルスペースのマイクはミュートになっています。



あなたの声は、Zoom™ 会議のみに送信されます。Zoom™ 会議室にいる人にはあなたの声が聞こえますが、バーチャルスペースにいる人の声は聞こえません。

Zoom™ 会議室とバーチャルスペースの両方にいる人にあなたの声を聞かせたい場合は、デスクトップウィンドウの下部にあるマイクをオンにします。



Zoom™ 会議室への音声送信をオンまたはオフにするには、Zoom™ アプリでマイクをミュートまたはミュート解除する必要があります。

VIVERSE for Business をコンピューターやモバイルデバイスで使用する

コンピューターとモバイルデバイスに VIVERSE for Business をダウンロードする

VIVERSE for Business ダウンロードのページにアクセスして、システム要件を確認し、デバイス用の VIVERSE for Business アプリをダウンロードしてください。

- VIVERSE for Business のデスクトップアプリをコンピューターにダウンロードするには、パーソナルコンピュータをクリックし、次に Windows または macOS バージョンのアプリをダウンロードします。
- VIVERSE for Business モバイルアプリの OS 要件とダウンロード先を確認するには、スマートフォン/タブレットをクリックします。

コンピューターで VIVERSE for Business をナビゲートする

ここでは、コンピューター上の VIVERSE for Business で仮想環境をナビゲートする方法をご紹介します。

- 右クリックしたままマウスを動かすと、回転してスペースを見渡すことができます。



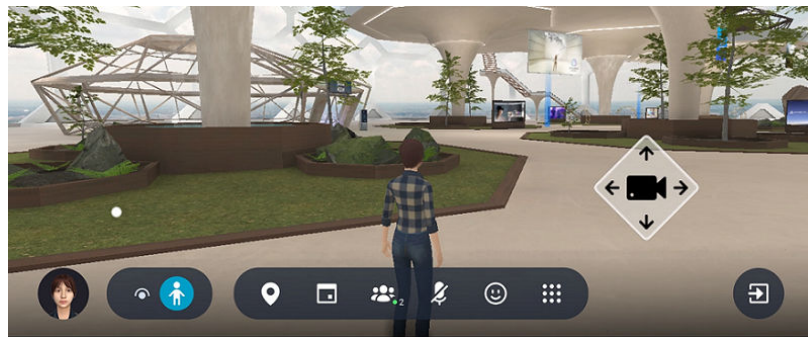
- 矢印キーで前後左右に移動します。

- ダブルクリックすると、あるポイントから別のポイントに移動します。
- 次のキーでも移動と回転ができます：
 - **w** : 前に進む
 - **s** : 後ろに移動
 - **a** : 左に移動
 - **d** : 右に移動
 - **e** : 右に回転
 - **q** : 左に回転

モバイルデバイスで VIVERSE for Business をナビゲートする

ここでは、モバイルデバイスの VIVERSE for Business で仮想環境を移動する方法をご紹介します。

- 画面上で指をドラッグして、空間を見回すことができます。



- 左側の白い点をタップして長押しすると、画面上に仮想ジョイスティックが表示されます。指をドラッグして空間を移動します。



- タップすると、ある地点から別の地点に移動します。

デスクトップアプリでフライスルー視界を使用する

VIVERSE for Business デスクトップアプリでは、フライスルー視界を使用して空中カメラを制御し、仮想環境を俯瞰することができます。

空中カメラをオンにし、移動し、調整するには、以下の画像でハイライトされたキーを使用してください。



キー	アクション
F3	エアリアルカメラをオンまたはオフにします
上矢印	前に移動します
下矢印	後ろに移動します
左矢印	左に移動します
右矢印	右に移動します
A	左に傾けます
D	右に傾けます
W	上に傾けます
S	下に傾けます
E	上に移動します
Q	下に移動します
2	カメラ速度を上げます
1	カメラ速度を下げます
+	視野を広げます
-	視野を狭めます

右クリックしてマウスを動かし、カメラを回転させることもできます。

デスクトップアプリとモバイルアプリからプライベートトークセッションを開始する

VIVERSE for Business のデスクトップアプリとモバイルアプリでは、同じスペースにいるメンバーとプライベートトークを使用して話すことができます。スペースにいる他の人に、会話を聞かれることはありません。

1. プライベートトークセッションを開始する方法：

- コンピュータ上で：話したいメンバーにカーソルを合わせてから、🗣️をクリックします。
- モバイルデバイスで：話したいメンバーをタップしてから、🗣️をタップします。



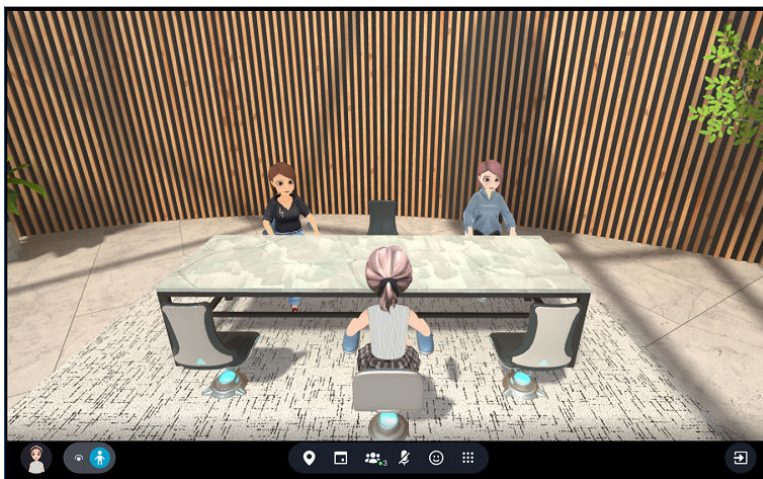
2. 相手が電話に出るのを待ちます。



プライベートトークセッションを一時停止して別のタスクに切り替え、再び話す準備ができたら再開します。

アプリのコントロール

VIVERSE for Business のデスクトップアプリとモバイルアプリで実行可能なコントロールは次のとおりです：



コントロール	説明
 ユーザー プロフィール	<p>プロフィールの詳細の表示、アバターの変更、ビルの切り替えなどを実行することができます。</p> <p>注意：VIVERSE for Business iOS モバイルアプリでは、アバターの選択は利用できません。iPhone および iPad デバイスで、モバイルブラウザを使用して HTC アカウントで VIVERSE for Business ユーザーコンソール にサインインし、右上のプロフィール画像をタップします。続いて、タップ  変更 をタップしてアバターを変更します。</p>
 視点	<p>このトグルを使用して、視点を一人称と三人称の間で切り替えます。</p>
 ビルの地図	<p>各階のバーチャルスペースの地図をご覧ください。地図上のスペースを選択すると、そのスペースに入ることができます。</p>
 カレンダー	<p>セッションを作成し参加する。デスクトップとモバイルアプリからセッションを作成・参加する方法 (P.84) をご覧ください。</p>
 3 スペースの管理	<ul style="list-style-type: none"> ▪ スペースオーナーであれば、VIVERSE for Business VR アプリでできるように、ツールや機能へのアクセス許可を管理することができます。詳細については、スペースのアクセス許可を管理する (P.37) をご覧ください。 ▪ 配置オブジェクトを選択して、現在のスペースで開かれている公開オブジェクトと非公開オブジェクトを確認し、削除したいオブジェクトを選択します。 <p>メンバーは自分が開いたオブジェクトのみを削除することができます。スペースのオーナーは任意のオブジェクトを削除することができます。</p>
 ミュート解除/ミュート	<p>マイクをミュート/ミュート解除します。</p>
 絵文字	<p>絵文字を選んでバーチャルスペースにリリースします。立位と座位を切り替えることもできます。</p>
 ツール	<p>ファイルブラウザ、リモートデスクトップなどの機能を使用します。VIVERSE for Business の設定にもアクセスできます。詳しくは、以下の項目をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ デスクトップアプリのファイルブラウザを使用する (P.87) ▪ デスクトップアプリでウェブブラウザを使用する (P.89) ▪ 他のメンバーが共有したコンテンツを表示する (P.91) ▪ コンピュータ画面を共有する (P.92)
	<p>現在のスペースから退出します。</p>






ファイルブラウザ、ウェブブラウザ、およびリモートデスクトップ機能は、VIVERSE for Business モバイルアプリでは利用できません。

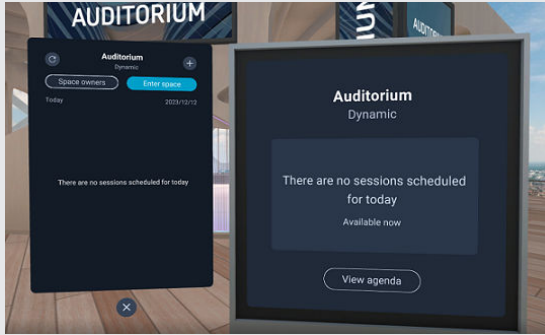
デスクトップとモバイルアプリからセッションを作成・参加する方法

VIVERSE for Business のデスクトップとモバイルアプリからセッションを作成し参加する方法は次のとおりです：

セッションを作成する


1. 新しいセッションを作成する方法：

方法	ステップ
カレンダーウィンドウから	<ol style="list-style-type: none"> 1. カレンダーをクリックまたはタップします 。カレンダーウィンドウが開き、予定されているセッションが表示されます。 2. 右上にあるプラスボタン  をクリックまたはタップします。 ヒント：カレンダービュー（マンスリービューを除く）で時間枠をクリックまたはタップして、新しいセッションを作成することもできます。
ダイナミックスペースから	<ol style="list-style-type: none"> 1. ダイナミックスペースの予定一覧ボードで、予定一覧の表示を選択します。 2. 開いたパネルで、右上にあるプラスボタン  をクリックまたはタップします。



2. セッションの日時を選択し、使用するスペースを選び、参加者を招待するには、**VIVERSE for Business** アプリで**セッションを作成する** (P.40) の手順を同じように行います。



- 参加者は、セッションの詳細（セッション ID とコード、セッションの日時など）を含むメールを受け取ります。
- セッションを作成した後、セッション情報ウィンドウで招待状をコピー  をクリックまたはタップして、セッションの詳細をコピーすることもできます。その後、詳細をメールに貼り付けて、招待したい外部ユーザーに送信することができます。

セッションは、自身のカレンダーと招待されたメンバーのカレンダーに追加されます。

セッションに参加する

1. セッションへの参加方法：

方法 **ステップ**

メール
でセッ
ション
に参加
する

1. 受け取った招待メールを開き、**参加**をクリックします。

VIVERSE for Business session

Join from your computer or mobile device

[Join session](#)

Session ID: 7jkn2h1q

Session code: 4meawrym

[Download VIVERSE for Business](#) | [Learn more](#)

If you have any questions or need assistance, feel free to [contact us](#).

Sincerely,

The VIVERSE for Business Support Team

Copyright © 2023 HTC Corporation, All rights reserved

ウェブブラウザが自動的に開き、セッションの日付、時間、その他の詳細が表示されます。

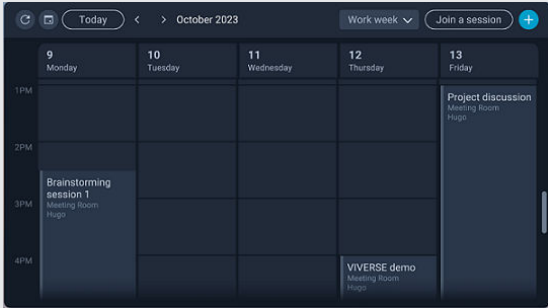
2. セッションが開始されている場合は、**セッションに参加**をクリックします。

ヒント：セッションが開始されていない場合は、**カレンダーに追加**をクリックして、セッションを VIVERSE for Business のカレンダーに追加します。

3. コンピュータを使用している場合、ウェブブラウザに VIVERSE for Business アプリを起動するように促す通知が表示されます。**開く**をクリックしてアプリを起動します。

モバイルデバイスを使用している場合、VIVERSE for Business モバイルアプリが自動的に開きます。

4. HTC アカウントで VIVERSE for Business にサインインします。

方法	ステップ
ユーザーコンソール経由でセッションに参加する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウェブブラウザで、VIVERSE for Business ユーザーコンソールにアクセスし、HTC アカウントでサインインします。 2. ウェブページの上部で、カレンダーをクリックします。 3. 参加したいセッションを選択し、参加をクリックします。  <ol style="list-style-type: none"> 4. ウェブブラウザに VIVERSE for Business アプリを起動するように促す通知が表示されます。開くをクリックしてアプリを起動します。 5. HTC アカウントで VIVERSE for Business にサインインします。
カレンダーでセッションを選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. カレンダーをクリックまたはタップします . 2. 参加したいセッションを選択します。 
セッション ID を入力する	<ol style="list-style-type: none"> 1. カレンダーをクリックまたはタップします . 2. カレンダーウィンドウの右上にあるセッションに参加するをクリックまたはタップし、セッション ID とコードを入力します。

方法	ステップ
ダイナミックスペースからセッションを選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ダイナミックスペースの予定一覧ボードで、予定一覧を見るをクリックまたはタップします。パネルが開き、予定されているセッションが表示されます。 2. 参加したいセッションを選択し、スペースに入るをクリックまたはタップします。



2. メールまたはユーザーコンソール経由でセッションに参加した場合、自動的にセッションのスペースに入ります。

他の方法でセッションに参加した場合、目の前または入口に表示されるポータルをクリックまたはタップしてスペースに入ります。




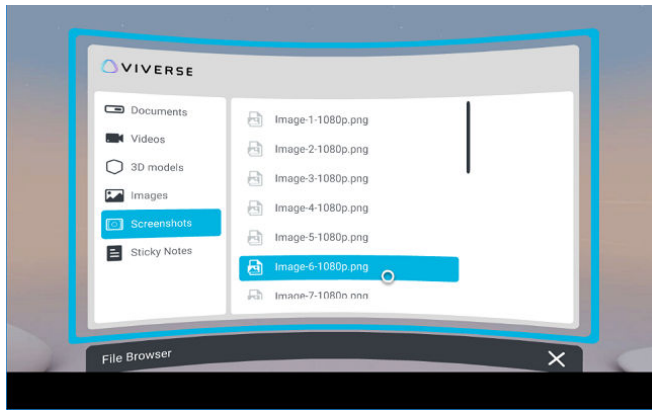
デスクトップアプリのファイルブラウザを使用する

VIVERSE for Business デスクトップアプリは、VIVERSE for BusinessVR アプリで利用可能な同じファイルブラウザを使用します。ファイルブラウザを使えば、ファイルを開いたり、他の人と共有したりすることができます。



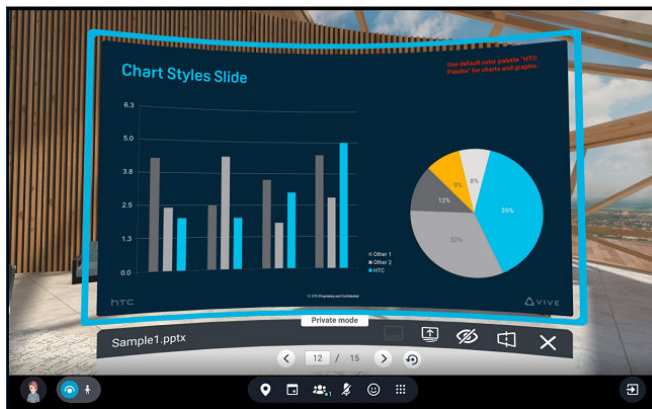
VIVERSE for Business モバイルアプリではファイルブラウザは利用できません。

ファイルブラウザでファイルを開くには、ツール  > ファイルブラウザをクリックし、必要なファイルを選択してから、開くをクリックします。



3D モデルを開くと、バーチャルスペース内のユーザーは見ることはでき、それらのユーザーも操作することができます。3D モデルの詳細については、[3D モデルを開く](#)（P.69）をご覧ください。

ドキュメント、画像、ビデオなどのファイルは、プライベートモードのコンテンツウィンドウで開きます。



他の人が共有するコンテンツウィンドウを見ることもできます。

以下は、所有する、または他の人が共有するコンテンツウィンドウで実行できることです。


タスク	ステップ
ウィンドウを移動、調整、共有する	コンテンツウィンドウを移動、サイズ変更、回転させ、共有します。詳細については、 デスクトップアプリでコンテンツウィンドウを操作する （P.89）をご覧ください。
プレゼンテーションビューでウィンドウを表示する	プレゼンテーションビューを使用する （P.59）をご覧ください。
メンバーの公開ウィンドウまたは大型スクリーンの制御を要求する	コンテンツウィンドウまたは大画面のコントロールをリクエストする（P.59）をご覧ください。
コンテンツウィンドウフレームを削除した後に画像でスペースを装飾する	画像で空間を装飾する （P.56）をご覧ください。

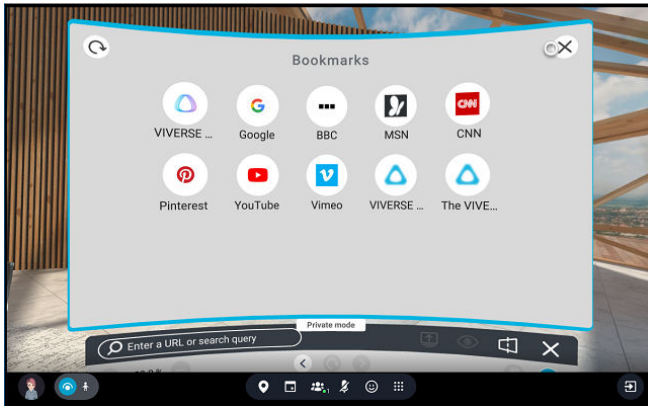
デスクトップアプリでウェブブラウザを使用する

VIVERSE for Business デスクトップアプリは、VIVERSE for Business VR アプリで利用可能な同じウェブブラウザを使用します。よくアクセスするウェブサイトのリンクを **VIVERSE for Business ユーザーコンソール** のブックマークに追加することで、ウェブブラウザでアクセスすることができます。詳細については、**ブックマークの追加、変更、削除 (P.23)** をご覧ください。



VIVERSE for Business モバイルアプリではウェブブラウザを利用することはできません。

ウェブブラウザを開くには、ツール  ウェブブラウザをクリックします。




ここでは、デスクトップアプリのウェブブラウザで実行できる操作をご紹介します。


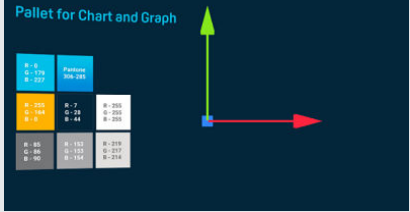



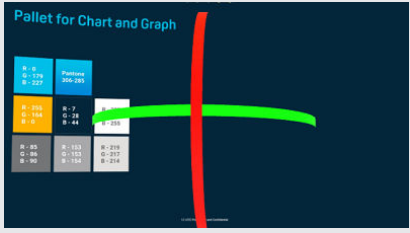
タスク	ステップ
ブラウザウィンドウを移動させて調整する	ウィンドウを移動させて、サイズを変更し、回転させます。詳細については、 デスクトップアプリでコンテンツウィンドウを操作する (P.89) をご覧ください。
ブックマークしたウェブサイトアクセスする	アクセスしたいウェブサイトやウェブサービスにリンクしているブックマークをクリックします。
ウェブサイトの検索またはアクセス	検索バーで、検索キーワードまたはウェブサイトの URL を入力します。

デスクトップアプリでコンテンツウィンドウを操作する

VIVERSE for Business のファイルブラウザまたはウェブブラウザからコンテンツウィンドウを開くと、移動、サイズ変更、回転させることができます。ファイルブラウザから開いたコンテンツウィンドウを共有することもできます。

コンテンツウィンドウを移動、サイズ変更、回転する

1. コントロールバーの右側にあるウィンドウコントロールボタン  をクリックします。
2. 左下のボタンで、ウィンドウを移動、サイズ変更、回転させます。

タスク	ステップ
上、下、 左、右に移動	<p>1.  をクリックします。</p> <p>2. 上矢印または右矢印上で左マウスボタンを長押しし、マウスを上、下、左、右に移動します。</p> 
サイズを 変更	<p> をクリックし、ウィンドウサイズを選択します。</p> 
上、下、 左、右に回転	<p>1.  をクリックします。</p> <p>2. 垂直軸または水平軸上で左マウスボタンを長押しし、マウスを上、下、左、右に移動します。</p> 



3. ウィンドウの移動や調整が完了したら、右下の完了をクリックします。

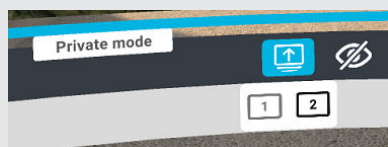


左マウスボタンでコントロールバーをつかみ、マウスを移動させることでコンテンツウィンドウを移動させることもできます。ウィンドウを押したり引いたりするには、左マウスでコントロールバーをつかみ、スクロールホイールを回します。

コンテンツウィンドウを共有する

コンテンツウィンドウを他の人に見てもらうには、以下の方法があります:

方法	ステップ
ウィンドウを公開する	デフォルトでは、コンテンツウィンドウはプライベートモードで開き、他のユーザーには表示されません。クリック  してパブリックモードに変更します。
大画面への共有:	大画面で共有をクリックし  コンテンツの投影に使用する画面を選択します。




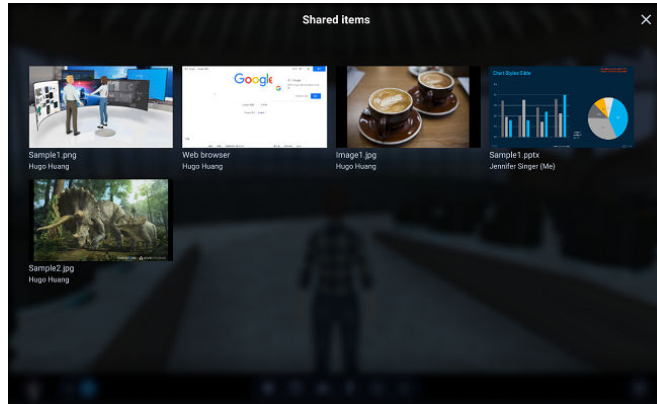
注意: この機能はオープンスペースでは利用できません。

他のメンバーが共有したコンテンツを表示する

VIVERSE for Business デスクトップアプリとモバイルアプリでは、他のメンバーが公開モードで共有したコンテンツや、大画面に投影したものを表示することができます。


コンピュータの場合

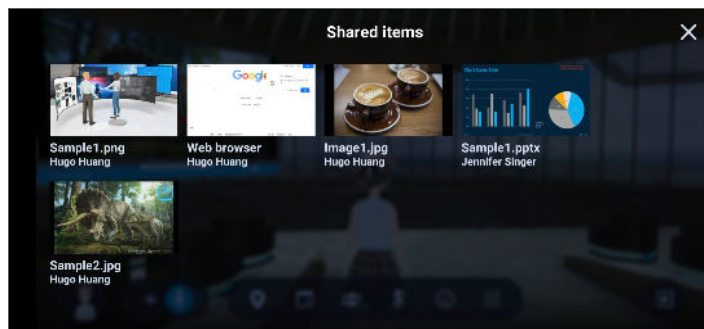
1. ツール  > 共有アイテムをクリックします。



2. 表示したい共有アイテムをクリックします。VIVERSE for Business アプリで全画面表示されます。
3. 左右の矢印ボタンをクリックして、共有アイテムを切り替えます。

モバイルデバイスの場合：

1. ツール  > 共有アイテムをタップします。
2. 表示したい共有アイテムをタップします。



コンテンツは全画面表示されます。

3. 左右の矢印ボタンをタップして、共有アイテムを切り替えます。

コンピュータ画面を共有する

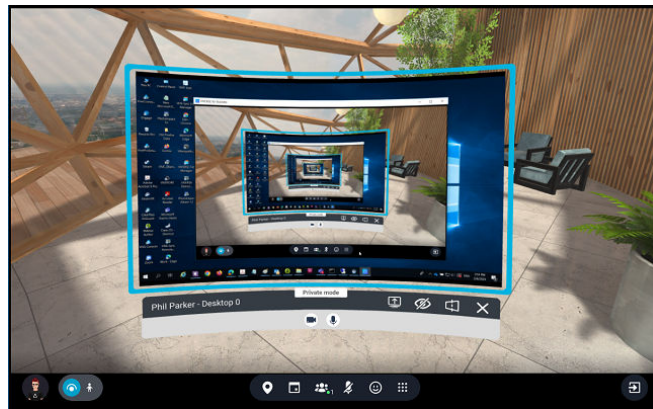
VIVERSE for Business デスクトップアプリでは、他のメンバーが見ることができるようにコンピューター画面を共有することができます。以下の方法で選択できます：

1. ツール  > リモートデスクトップをクリックします。

コンピューターに第2のモニターが接続されている場合、メインのコンピューター画面と外部ディスプレイの両方が表示されます。

2. 共有したい画面の上にマウスを移動し、開くをクリックします。

画面はコンテンツウィンドウに表示されます。それを共有するために、ウィンドウを公開するか、大画面に投影することができます。詳細については、[デスクトップアプリでコンテンツウィンドウを操作する \(P.89\)](#) をご覧ください。



VIVERSE for Business のデスクトップアプリまたはモバイルアプリを使用している他のユーザーは、共有アイテムリストから共有コンピュータ画面を選択する必要があります。詳細については、[他のメンバーが共有したコンテンツを表示する \(P.91\)](#) をご覧ください。


デスクトップアプリとモバイルアプリでライブキャプションを表示する

VR アプリと同様に、VIVERSE for Business のデスクトップアプリとモバイルアプリには、リアルタイムの会話をテキストに変換して、希望の言語で表示できるライブキャプション機能があります。



- この機能はデフォルトでは利用できません。VIVERSE for Business プランに含めて有効にする必要があります。
- ライブキャプションはオープンスペースでは表示できません。

デスクトップアプリとモバイルアプリでライブキャプションを表示する方法は次のとおりです。


1. 永続的または動的なスペースに入るか、作成したセッションまたは招待されたセッションに参加します。
2. ツール  > ライブキャプションをクリックまたはタップします。
ライブキャプションバーは右上に表示されます。

Live captions



3. ライブキャプション機能を初めて使用する場合は、言語を選択ダイアログボックスで話す言語と希望するキャプション言語を選択します。言語を選択した後、**OK** をクリックまたはタップします。



- 話す言語に**自動検出**を選択した場合、アプリが言語を認識して翻訳を表示するまで数秒かかることがあります。
- ライブキャプションの設定を変更するには、ライブキャプションバーの設定ボタン  をクリックまたはタップします。キャプションの下の言語で、話す言語、フォントサイズ、およびキャプション言語を変更できます。


デスクトップおよびモバイルアプリでの議事録を録音する


VR アプリと同様に、VIVERSE for Business のデスクトップおよびモバイルアプリには、セッション中のライブディスカッションをキャプチャし、お好みの言語で議事録に要約する機能があります。スペースオーナーおよび共同オーナーはこの機能を使用できます。



この機能はデフォルトでは利用できません。VIVERSE for Business プランに含めて有効にする必要があります。

デスクトップおよびモバイルアプリで議事録を録音する方法は次のとおりです。

1. 作成したセッション、または共同オーナーとして割り当てられたセッションに参加します。
2. スペース管理  をクリックまたはタップします。
3. 右上の会議議事録をクリックまたはタップします。
4. 議事録設定ダイアログボックスで、セッションで全員が使用する言語を選択します。
参加者が異なる言語を使用する場合は、複数言語を選択し、話す言語と議事録の言語を選択します。
5. 録音を開始するには、開始をクリックまたはタップします。

右上の会議議事録の停止  をクリックまたはタップして、記録を停止します。

会議メモは、スペースの所有者と共同所有者に自動的にメールで送信されます。

デスクトップとモバイルアプリでのセーフゾーンの仕組み

VIVERSE for Business のデスクトップとモバイルアプリでは、セーフゾーンを有効にすることはできません。他のユーザーのセーフゾーンしか見ることができません。また、セーフゾーン内のユーザーとの交流も制限されます。

VIVERSE for Business のデスクトップとモバイルアプリでのセーフゾーンの仕組みは次のとおりです：

- 右クリックしてマウスを動かさずか、スマートフォンの画面をドラッグすると、他のユーザーのセーフゾーンが表示されます。



- ユーザーのセーフゾーンの境界を越えると、お互いに見えなくなります。



- プライベートトークセッションは、ユーザーのセーフゾーン内から開始することはできません。

ただし、そのユーザーのセーフゾーンに入ったとき、すでにそのユーザーとプライベートトークセッションを行っていた場合は、プライベートトークが優先され、そのユーザーのセーフゾーンはセッションが終了するか、そのユーザーのセーフゾーンを出るまで一時的に無効になります。

- VR におけるセーフモードの仕組みについては、[セーフゾーン](#) (P.35) をご覧ください。

ソリューションとFAQ

一般

VIVERSE for Business を PC VR ヘッドセットで使用するためのシステム要件を教えてください。

詳細については、システム要件 (P.7) をご覧ください。

VIVERSE for Business と互換性のあるデバイスを教えてください。

詳細については、VIVERSE for Business と互換性のあるデバイス (P.8) をご覧ください。

VIVERSE for Business が対応する言語を教えてください。

VIVERSE for Business は、各種言語に対応しています。

APAC :

- 中国語 (繁体字)
- 韓国語
- 日本語

EMEA :

- 英語
- ドイツ語
- フランス語

北米 :

- 英語
- スペイン語

中国 : 中国語 (簡体字)

VIVERSE for Business チームに機能リクエスト、フィードバック、提案を提出する方法を教えてください。

このリンクから問い合わせすることができます。

iPad または iPhone の VIVERSE for Business ユーザーコンソールにサインインできません。

特定のプライバシー設定が有効になっている場合、iPad または iPhone の Safari にある VIVERSE for Business ユーザーコンソールにサインインできない場合があります。

お使いの iPad または iPhone で、設定 > **Safari** に進み、プライバシーとセキュリティにスクロールダウンし、クロスサイトトラッキングの防止を無効にします。

VIVERSE for Business ユーザーコンソールに iPad または iPhone の Safari からサインインできるはずですが。

ネットワーク管理者が VIVERSE for Business のために有効にする必要があるポートはどれですか？

企業ユーザーが VIVERSE for Business および関連クラウドサービスを利用するには、ネットワーク管理者が以下のポートへのアクセス権を付与する必要があります。

プロトコル	ポート番号
Https	443
ログ	554
Photon (TCP)	4530/ 4531/ 4533/ 9090/ 9091/ 9093/ 19090/ 19091/ 19093
Photon (UDP)	5055/ 5056/ 5058/ 27001/ 27002/ 27000

アバター

マイVRMアバターが不均等に見えます。

VRMアバターは、作成方法によってサイズが異なる場合があります。他のユーザーのVRMアバターは背が低く見え、自身のVRMアバターは背が高く見えるかもしれません。

アバターの高さのバランスを取るため、VRMアバターは通常の人間の身長に調整されていますが、そのためサイズが不均等に見える場合があります。

VRMアバターの動きが崩れて見えたり、動きが鈍く見えたりします。

ポリゴン数の多いVRMアバターは、デバイスリソースを大量に消費するため、同じ空間に複数のアバターがいる場合、アバターの動きが崩れて見えたり、動きが鈍く見えたりすることがあります。VIVERSE for BusinessでVRMアバターをより快適にご利用いただくために、[アバターを作成する \(P.8\)](#) をご覧いただき、推奨仕様に従ってVRMアバターを作成してください。

ファイルとコンテンツウィンドウ

セッション中に開いて共有できるファイルの種類を教えてください。

セッション中やVIVERSE for Businessのバーチャルスペースで、ドキュメント、画像、ビデオ、3Dモデルを開いて共有することができます。

対応ファイル形式の詳細については、[VIVERSE for Businessで閲覧できるファイルの種類 \(P.21\)](#) および [3Dモデルの準備 \(P.65\)](#) をご覧ください。

VIVERSE for Businessにファイルをアップロードする際のファイルサイズの制限を教えてください。

ファイルサイズの制限は、ユーザーロールによって異なります。メンバーは最大20GBのファイルをアップロードすることができます。ゲストのアップロード制限は500MBです。

また以下のファイルタイプには、ファイルサイズの制限があります。

- **3Dモデル**

3Dモデルのファイルサイズ制限は、お使いのVRデバイスの種類によって異なります。

デバイス	ファイルサイズの制限
PC VR ヘッドセット	150 MB またはそれ以下推奨
スタンドアロン型ヘッドセット	60 MB またはそれ以下推奨、最大 300 MB

- **PowerPoint**

PPTファイルのファイルサイズ制限は、1ファイルあたり200MBです。アップロードできるファイル数は6点までです。

スペースやセッションルームにファイルをアップロードする方法を教えてください。

コンピュータから VIVERSE for Business のクラウドストレージにファイルをアップロードし、すべてのバーチャルスペースとセッションルームからアクセスすることができます。

詳しくは、[VIVERSE for Business](#) へファイルをアップロードする (P.21) をご覧ください。

VIVERSE for Business にアップロードされたファイルはどこに、どれくらいの期間保存されますか。

アップロードしたファイルは、VIVERSE for Business クラウドストレージに保存されます。これらのファイルは、すべてのバーチャルスペースとセッションルームからアクセスすることができます。

アップロードされたファイルは、VIVERSE for Business ユーザーコンソールから削除するまで、クラウドストレージスペースに保存されます。

VIVERSE for Business のスクリーンショットの保存期間とは。どうやってダウンロードできますか。

スクリーンショットは、削除するまでクラウドストレージのスペースに残ります。

スクリーンショットのダウンロード方法については、バーチャルスペースで作成したスクリーンショットやその他のファイルをダウンロードする (P.24) をご覧ください。

同時にいくつのファイルやコンテンツウィンドウを開くことができますか。

アップロードされたファイル、付箋、コンテンツウィンドウなど、開くことのできるオブジェクト数は、コンテンツの種類や VR デバイスによって異なります。また、プライベートで見るのか、部屋で共有するのによっても異なります。

■ スタンドアロン VR

コンテンツタイプ	オブジェクト最大数
ビデオ	1 点の動画のみ (プライベート/共有共に)
PowerPoint (プライベート)	最大 3 点の PPT ファイル (プライベート)
PowerPoint (共有)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 点の共有 PPT ファイルのみ ▪ なし (開いている動画がある場合)
PDF (プライベート)	最大 5 点の PDF
PDF (共有)	最大 5 点の PDF
画像 (プライベート)	最大 5 点の画像
画像 (共有)	最大 5 点の画像
ウェブブラウザ (プライベート)	最大 2 点のブラウザウィンドウ
ウェブブラウザ (共有)	1 点のブラウザウィンドウのみ

コンテンツタイプ	オブジェクト最大数
ウェブストリーミング (YouTube、Vimeo™)	1 点のプライベートまたは共有コンテンツウィンドウのみ
付箋	最大 100 枚の付箋
ホワイトボード	<ul style="list-style-type: none"> 最大 3 枚のプライベートホワイトボード図面 最大 5 枚の共有ホワイトボード図面

■ PC VR

コンテンツタイプ	オブジェクト最大数
ビデオ	<ul style="list-style-type: none"> 1 点の共有動画のみ 最大 3 点の動画 (プライベート閲覧の場合のみ) 最大 2 点の動画 (プライベート) と 1 点の動画 (共有)
PowerPoint (プライベート)	最大 10 点の PPT ファイル (プライベート)
PowerPoint (共有)	<ul style="list-style-type: none"> 1 点の共有 PPT ファイルのみ なし (開いている動画がある場合)
PDF (プライベート)	最大 10 点の PDF
PDF (共有)	最大 5 点の PDF
画像 (プライベート)	最大 10 点の画像
画像 (共有)	最大 5 点の画像
ウェブブラウザ (プライベート)	最大 5 点のブラウザウィンドウ
デスクトップ (プライベート)	最大 4 点のデスクトップウィンドウ
ウェブブラウザ/デスクトップ (共有)	1 点のブラウザまたはデスクトップウィンドウのみ
ウェブストリーミング (YouTube、Vimeo™)	1 点の共有ウィンドウのみ
付箋	最大 100 枚の付箋
ホワイトボード	<ul style="list-style-type: none"> 最大 3 枚のプライベートホワイトボード図面 最大 5 枚の共有ホワイトボード図面

セッションとスペース

セッションに招待されました。参加するにはどうすればいいですか。

VR ヘッドセット、コンピュータ、またはモバイルデバイスからセッションに参加することができます。

詳細については、[セッションに参加する](#) (P.42) をご覧ください。

3D モデル

VIVERSE for Business に 3D モデルをインポートする方法

サポートされているファイル形式と 3D モデルの準備に関するガイドラインの詳細については、[3D モデルの準備](#) (P.65) および [Polygon Streamin とは？](#) (P.66) を参照してください。

3D モデルのアップロード方法については、[3D モデルを VIVERSE for Business にアップロードする](#) (P.68) をご覧ください。

3D モデルを表示させると、テクスチャは表示されません。

3D モデルをアップロードする前に、以下をご確認ください。

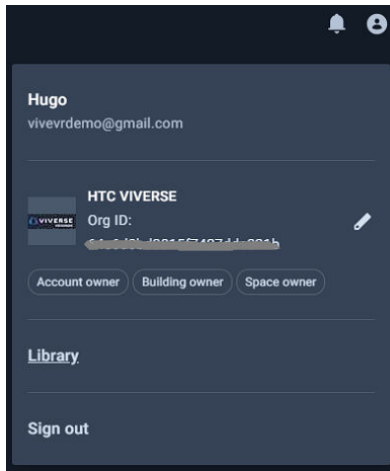
- 3D モデルで個別のテクスチャファイルがある場合は、3D モデルとテクスチャを ZIP ファイルにパッケージしてください。
- 複数の 3D モデルがある場合、それぞれの 3D モデルとそれぞれのテクスチャファイルを別々の ZIP ファイルとしてパッケージングしてください。
- テクスチャファイルが完成していることを確認してください。
- テクスチャファイルのフォルダ分けは推奨されません。アップロード時の問題発生を避けるため、3D モデルとそのテクスチャファイルをフォルダに入れずに ZIP ファイルにパッケージしてください。

サブスクリプションとその他の FAQ

ライセンス期間を延長したり、シート数を追加する方法を教えてください。

ライセンス期間の延長またはシートの追加購入については、営業担当者にお問い合わせいただくか、<https://www.viverse.com/business/contact-us> までリクエストを提出してください。リクエストフォームの説明欄に組織 ID を入力してください。

組織 ID を確認するには、[VIVERSE for Business 管理コンソール](#)にサインインし、右上のプロファイルボタン  をクリックします。組織 ID を表示するメニューが開きます。



商標と著作権

©2024 HTC Corporation。版權所有。

VIVERSE、VIVERSE ロゴ、およびその他の VIVERSE 製品およびサービス名は、VIVERSE、HTC Corporation およびその関連会社の商標です。

その他の本書に記載されている商標およびサービスマークは、会社名、製品名、サービス名およびロゴを含めてそれぞれの所有者の財産であり、これらの本書内での使用は、HTC Corporation との提携や関連性、あるいは承認を示すものではありません。必ずしも、記載されているすべてのマークが本ユーザーガイドに掲載されるわけではありません。

本書に含まれる画面イメージはシミュレートしたものです。HTC は、本書中の技術的誤りや編集上の誤り、あるいは欠落、また、本資料の提供に起因する偶発的または必然的な損害に対して一切の責任を負いません。情報は、いかなる種類の保証なく「現状のまま」提供され、予告なく変更されることがあります。HTC はまた、事前の予告なく、いつでも本書の内容を訂正する権利を有します。

本書のいかなる部分も、いかなる形式または手段、あるいは電子的または機械的に関わらず、複写、情報検索システムへの記録や保管、あるいはいずれかの言語への翻訳を含め、いかなる形式であれ、HTC からの書面による事前の許可なしに複製または転送することを禁じます。